京城日報

本紙定價 一部參錢 一ヶ月金七拾五錢
廣告料金 七號活字一行
發行兼編輯人 奥山直
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 振替京城

七月四日夕刊（朝夕併せて八頁）

○西伯利政府建設

西伯利政府建設せられデンデル總理にペツロフ外務にウオルコフ軍務に擧げられたり（浦鹽電報）

○ホ軍將極東政府樹立

ホルワット將軍は愈々極東政府樹立に決し義勇軍團の募集を急ぎつゝあるが滿洲地方の應募者頗る多し（哈爾賓電報）

○浦鹽舊自治回復

チエツク軍は二十九日戰鬪後一番川驛に引揚げダーバー氏は西伯利亞政府臨時委員として軍務を兼任し義勇兵三千を募集し孰れも武裝せしめ新政府を保護したるが赤衛軍中適當せる者を除き要塞勞兵會本部共に悉く武裝を解除しアウレウセスカヤ街の過激派本部は義勇兵是を守れり市役所の再開と共に舊市長アガリオフ氏出勤し電信郵便局も舊自治政府にて回復せり（浦鹽電報）

○獨侵略防止協議

英國外務次官は言明して曰く『聯合國は露國に對する獨逸の侵略制御、及び利益獲得を防止せんとする方策に關し絶えず協議を重ねつゝあり、されど予は目下の場合干渉問題に關し決定的陳述を爲す能はず』と（倫敦電報）

○勞兵會愈々全滅

浦鹽港内碇泊の露國驅逐艦四隻は同司令官の懇請に依り加藤司令官聯合國軍艦と諮り其武裝を解けり斯くて海陸共勞兵會は全滅せり（浦鹽電報）

○日支兩國理解

支那武官陳林春氏は語りて曰く『西伯利問題に關しては日支兩國間に完全なる相互理解あり支那の滿洲部隊は過激派軍より優勢なり』と（巴里電報）

○チ兵獨墺人檢擧

チエツク兵は獨墺人の大檢擧を爲し多數の附探嫌疑者を捕へクンストアルベルスの大商店を搜索し武器を發見し墺國マジヤール人二十名を鎗殺せり尚勞兵會本部ありし一番川の獄に投ぜられたり（浦鹽電報）

○ケ氏米國へ出發

ケレンスキー氏は米國に向け出發せりと（倫敦電報）

○敵潛艇攻擊
我驅逐隊の活動

海軍省三日午前十時發表＝我驅逐隊の一部は六月二十五日朝地中海に於て二隻の敵潛航艇を發見し直に攻擊を加へ成功せしものと認めらる護衛の運送船には何等の被害無かりき（東京特電）

○中立國居中調停

和蘭、西班牙、瑞典、諾威、瑞西の諸國は獨逸外相キユールマン氏、英國外相バルフオア氏の試みたる演説の結果交戰國に對し居中調停を提議す可しと稱せらる（アムステルダム電報）

○佛軍二粁進出

佛軍は去月二十八日朝モンドゴベルにて七粁の正面に於て深さ二粁の進出を爲せり（倫敦電報）

○棧橋交渉纏る

釜山第二棧橋は愈々船舶會社との折衝纏り大阪商船は十二日入港の宮地丸を繋船し引續使用の事となりたるが尚大池回漕部扱ひの日本郵船、互光商會、尼崎汽船等も交渉纏りたるが尼崎の大有丸五百噸は六日入港繋船の筈なり（釜山特電）

○白井新八師團長

新任第八師團長白井二郎中將は三日夜内地に向へり（釜山特電）

○赤塚總領事歸任

赤塚奉天總領事は三日午前著連午後八時發奉天へ歸任せり（大連特電）

◎支那刻下の急務 幣制改革
濱岡京都商議會頭談

三日朝釜山上陸直に北行したる京都商業會議所會頭濱岡光哲氏は支那幣制改革につき語つて曰く

目下の支那經濟界にては幣制の改革を最も急務なりとす現下の雜然たる幣制の存する限り如何なる事業を興さんとするも至難の事なり支那は銀貨本位の國にして遂次の

▲戰亂に依り 銀貨昂騰を來し戰前二十七ペンス内外なりしものが五十餘ペンスの相場を示したるも銀の現存量は戰前と差異なきを以て支那國民が物貨を外國に仰ぐも百圓の物品は支那貨の五十圓に相當し社會一般が物價騰貴に頭を惱まし居るも何等痛痒なきもの、如くなるも一度平和の克復を見んか必ずや變則的なる銀貨は暴落の悲運に際會すべく從つて現在の二倍を支出するの已むなきに至るべし然れ共現在の對支貿易又は事業上の投資の如きは金貨本位の各國共困難なるは明かなるも戰後は必ずや

▲各國集中して 競爭の起る事も亦覺悟せざるべからず故に我日本は隣接國として經濟の提携を要し且つ商業上先進國との競爭上萬難を排して現下に著目し利權の獲得に腐心すべきは言を俟たざる所なり、上述の點より推すも假りに幣制の改革を斷行するに一億圓を要するものとするも現在之れを行へば結局五千萬圓を以て償ひ得べきなり故に戰後尚之れが斷行を爲さゞるに於ては倍額の償金を要する譯なり然りと雖も現在の支那人の銀價相場の變動に依り巨利を占めんとする輩又は一擧物價暴騰の爲め之れが斷行は當面の事ならんも日本の

▲安全策より 見れば多少の犧牲は覺悟しても斷行の促進に努めざる可からず、大體に於て支那國民は保守的觀念に乏しく金貨を擁護し粉末となし或は金貨に穴を穿ちて錨を鑄込む等の犯罪行爲を敢行するに躊躇せざるを以てこれに伴ふ警察權の確立を要し從つて此の點より見るも財政整理の必要の起る可きを以て同時に幣制改革の根本たる國立大銀行を設立して兌換券の發行に伴ひ準備金の必要は勿論なるを以て結局は何れの方法を以て此の多額の準備金を得るかが大問題なり（釜山）

◎殖銀の幹事

朝鮮殖産銀行の設立事務を執るべき幹事は七月一日附左記四氏に仰せ付けらる、由

度支部理財課長 有賀光豐
度支部司計課長 河内山樂三
理財課事務官 野坂直次
殖銀庶務局長 中村光吉

尚ほ主として野坂幹事淡湖農銀樓上にて設立の常務を執るべしと

◎鮮銀營業局職制改正
總務計算兩課新設

朝鮮銀行にては今回營業局の事務膨大に伴ひ總務課及び計算課の兩課を新設する事となり七月一日附左の如く課長の兼任を命じたり

營業局總務課長事務取扱 營業局長 吉田節太郎
計算課長 營業局營業課長 井上正愛

▲銀行當局談 今回營業局に總務課並に計算課の新設をなせしは内課に屬すべき事務膨大して局長室並に支店課外國課のみにて處理し盡せざるに至れる爲めなり總務課にては主として銀行事務上の政策並に方針を管掌すべく從つてその處理すべき事務は一般借款並に特殊の資金運用に關する方針各種公債社債株式等の應募引受又は買賣方針に關する事項銀行又は會社の業務代理契約業務上の重要なる契約特種の調査等を行ふべし又計算課は從前一課をなせし事ありその後營業課の一係に縮少したるが近來支店の增加業務膨脹のため處理事務激增せしと計算事務の統一を圖る必要あり營業課の一係としては不便を感ずるに付今回一課制となしたるなり

◎府尹招待宴

既報の如く山縣政務總監は四日午後七時より入京中の各府尹を朝鮮ホテルに招待し晩餐會を開きたり

◎鮮人判任官臨時增俸發布

朝鮮人判任官臨時增俸の件は五日附を以て發布同十五日より施行のこと、なれり

◎府尹會議（第三日）

府尹會議第三日は四日午前九時より總督府第二會議室に於て開會諮問事項の答申に次で指示事項あり正午散會せり

◎殖銀定款發表
＝各銀行定款の採長短補＝

朝鮮殖産銀行第一回の設立委員會に於て決定し總督に認可申請中なりし定款は四日の官報を以て發表されたり新定款は各特種銀行と規を一にせるが唯各銀行定款の採長短補をなせしだけ完全に近きものの如し内容は總則資本及び株式重役營業等殖産銀行令の定めたる範圍を出でざるも新たなる部分を摘記すれば左の如し

▲重役報酬 は頭取五千圓理事一級三千五百圓二級三千圓と定め別に朝鮮總督の定むる手當を受くる事を得と定めあり

▲重役會 頭取及び理事を以て組織し重要なる業務を議決すべくその招集は頭取之を行ひ而してその成立は半數以上の出席を要し重役中疾病旅行その他の事故のため定數に充たざるもその事の急施を要するものは出席員に於て之れを議決し次回の重役會にてその旨を報告すべく議事は多數を以て決するも可否同數なる時は議長之れを決する事に定めあり

▲殖銀債券 拂込資金の十倍を限度とする債券は券面金額十圓以上とし利札附無記名とす但し應募者又は所有者の請求により記名となすべく又債券の發行は株主總會の議決を要せず利子は二回に仕拂ひ債券の償還には五年以内の据置期間を定め債券の償還は据置期間經過後三十年以内と定めあり

▲計算 銀行の營業年度は一月より六月、七月より十二月までとし利益金分配の方法は收入より支出を控除した左の割合を以て分配する事に定めあり

益金百分の八以上 缺損補塡
同 百分の二以上 配當平均準備
同 百分の十以内 役員賞與

以上を引去りたる残額はこれを株主に配當し又は特別積立金若くは後期繰越金となすべし

▲相談役 殖銀に相談役を置き得る事を得相談役は頭取之を囑託しその員數及び手當金は頭取之れを定むる事となり居れり

◎辭令

六月二十九日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮銀行副總裁 嘉納德三郎
敍正四位
土地調査局書記 東條十郎
敍勳七等授瑞寶章

◎鮮銀店長異動

朝鮮銀行にては七月一日附各支店長出張所長の異動を左記の如く行ひ四日發表せり

本店勤務 神戶出張所長 宮崎謙平
神戶出張所長 釜山支店長 武安福男
安東縣支店長 新義州出張所長 久我清廣
釜山支店長 營業課勤務 木村久雄
安東支店長 新義州出張所長
新義州出張所長 福富恒毅

◎淡湖農銀決算

淡湖農工銀行の上半期決算を聞くに同期純益は二萬二千六百圓合計二萬八千二百圓にして株主配當は總督府の認可を經て決定する譯なるも多分政府持株を除き年六分强七分弱となす意向なりと

◎商銀上半期成績

朝鮮商業銀行大正七年度上半期の營業成績は一般財界の影響を受け諸般の取引非常に擴大し從つて利益も亦大に見るべきものあり今之を昨年の同期に比するに預金に於いて十二萬圓即ち昨年六月末に於て百九十三萬圓餘なりしものが本年度は四百二十九萬圓に增加し貸出金に於いて十三萬圓即ち昨年度百九十九萬七千圓餘なりしものが本年度は四百六十萬圓餘に增加せり從つて利益金に就ても同樣の增率なる可く未だ確定せざるも未經過割引料未拂利息等の勘定の下に六萬六千六百餘圓を次期繰越し二萬二千餘圓を積立其他の所有物價却金に充て純益金五萬二千六百五十五圓を計上し來る二十九日開催の株主總會に於て之が分配方法を決議すべく目下其筋へ認可申請中とのことなり因に當期配當金は年九步の見込なりと

◎商議聯合會
來る九月京城に於て

朝鮮各商業會議所聯合會は來る九月頃京城に於て第一回會同を爲すべく今期聯合會は最初共進會開催の都合上大邱に於て開かむとの議起りしも贊成者少く殊に商業會議所聯合會開會の上は當局の出席を乞ひ相當の意見說明を聽取し建議事項の取捨を爲すべき等の必要あるを以て結局京城に於て開催することに略決定せる由なり而して鮮滿商業會議所聯合大會も亦本年秋季に於て開催すべき筈なるが開催地は大連なるべしと

◎仁川も値上
電燈及び電力料金

京城電氣の電燈及び電力料金の値上げは曩に會社當局の談として其の理由を發表せるが之と同一の理由の下に京電仁川支店に於ても亦一割方の値上げを斷行する事となり其筋へ認可申請を提出せんとせしも戰局の靜らず影響として會社經費の大部分を占むる石炭暴騰の打擊を蒙り且つ

▲諸物價昂騰 に際する社員職工の待遇並に一般消耗資の增加等は値上げを斷行するの已を得ざる理由として京城と同樣の說明を爲せり一定の豫算に於て經營しさんとするは市民經濟上の是非は別として其の表面は寧ろ當然の事なりと云はざるべからず而も仁川に於ける從來使用の炭價は京城のそれよりも

▲格安なりし を以て七月以降使用の新契約の炭價に比すれば多大の開きを生じたるだけ京城よりも更に苦痛の度を感ずるものありと云へり今試みに正確なる內容の數字を掲ぐれば一月以降の使用粉炭は南滿鐵道會社より一噸七圓八十五錢の割合を以て供給を受けつゝありしも七月以降の新契約は一噸十三圓九十錢にして其間一噸に就き六圓五錢の相違を生じ一日の使用炭料

▲平均八噸 に對しては四十八圓四十錢を增加し之を半期間の所要炭價に見積る時は實に八千九百餘圓の增加となる而して之を補塡せんが爲め京城同樣電燈料金從量一金に對しては一割電力料金從量一キロワット時に金一錢定額電力一割其他京城同率の步合に値上げ改定したる結果の增收は

電燈收入 金三千七百餘圓
電力收入 金一千一百餘圓
合計 金四千八百餘圓

にして即ち增加せる炭價の僅に五割强に相當す此外社員職工に對する戰時增級並に諸器具材料の價格暴騰に依る經費の膨脹等を加算する時は本增加步合は尙ほ遙に低下すと云ふに在り（仁川）

○鳳凰山鐵鑛問題
英國外務次官の答辯

英國外務次官は下院に於て質問に答て曰く『政府は日本政府が鳳凰山鐵鑛の採掘權を獲得せん爲め交渉を進めつゝあるを聞知せるもただ其交渉成立の報に接せず右鐵鑛は英國政府が從來英國の特殊利益範圍内にありと思惟せる地方に位す特殊利益範圍とは即ち英國臣民が總て同地方に於ける産業上の特別出願に對しては支那政府より好先的待遇を受く可き特權を有するの義なりされど英國は外國が其利益範圍に對し要求をなすに當り其主張が門戶開放政策に背馳を見るに至りて迄も固執す可きものなりとは思惟せず鳳凰山鐵鑛事件に關しては英國公使も外務省も未だ一度も相談を受けし事なし』と（倫敦電報）

○陸對岑全權委任

岑春煊氏は二日廣東著の豫定なり陸榮廷氏は岑春煊氏に西南各省の法律、政治に關する其他各省との問題に就ての全權を委任する旨を述べたりと（上海特電）

◇チエツク族
活動の由來チ族の宿望

△チ族の本據 今回浦鹽を占領するに至れるチエツク族なるものは人も知る如く墺匈國の西北隅なるボヘミヤの盆地を本據として割據せる約八百萬の民族にしてスラヴ民族の系統に屬し墺匈國内に在りても獨特の人情、習慣、言語を有し墺匈國内スラヴ族（墺匈の人口四千六百二十餘萬中其の四割六分はスラヴ族なりとす）中に在りても最優勢の地位を占めつゝあり由來功名心の强き民族にて隣接せる二百萬のスロワーク族のみならず尚ほ能ふ可くんば國内の全スラヴ族を糾合し墺匈の羈絆より離脫して自ら一獨立王國を建設せん宿望の下に不斷の活動を續け來りたるものなり

△自發的投降 殊に歐洲大戰の勃發するや彼等チエツク族は機逸す可からずと爲し佛都巴里に本部を露國及び米國に支部を設けて特殊の運動を開始せり墺軍に從ひて對露戰線に立ちたるチエツク族の一部はガリシヤ方面に於て戰鬪進行中墺軍に裏切自ら進んで露軍に投じたり其の數少くも五個師團を下らざりしが如く露軍に投じて以來一時は露軍に從ひて對墺戰線に立ち專ら墺匈軍を壓迫して以て同民族の素志を遂けんと欲しつゝありたり

△西部戰場へ 然るに偶々露國に革命勃發して國内の情勢混沌たるものあるに至るや露國の援助の下に獨立の偉業を成就せんと欲したる彼等約十萬のチエツク族は甚だ失望したること勿論なるも素々民族的團結力と功名心に富たる彼等は敢て自棄せず亦過激思想に感染せず巴里なる本部との連絡ある運動及び主として佛國政府の同情斡旋に依りて漸く西部戰場に赴くことゝなり其の大部分は途を西伯利亞に取り極東を經て、又其の一部は西露アーチャンゼル若くはドーラ港より海路英國を經て夫々佛國戰場に向ふことゝなりたり

△チ族の對抗 而して當時に在りては優勢ならず勢ひ聯合國の意を迎ふるに汲々たるものありしを以てチエツク族も敢て過激派の妨碍を受くることなく約六萬は西伯利亞に進み內一萬五千は既に樂々浦鹽に達することを得一方途を海路に取らんとせしものも克くマルマン地方に蒐集合を遂けたり然るに其後西伯利亞の過激派はチエツク族に對する措置に關し獨逸側よりの强硬なる抗議に會し僞めに此程全く從來の態度を一變してチエツク族の東行を阻めるのみならず其の武裝解除を强ひんとするに至れり爰に於てチエツク族亦斷然過激派に對してイルクツク以西の約四萬五千は最近サマラ、トムスク間の鐵道沿線を占領し且つ其の一部は一時イルクツクをさへも占領し同一理由に基きて最近更に浦鹽の占領となりたるものなり因に米國に在るチエツク族も亦相呼應して曩ち大統領ウイルソン氏の斡旋に依りて一軍を編成せんと計畫目下進行中なりと

◎京畿道桑苗狀況

京畿道管內に於ける大正六年中桑苗の生産狀況を聞くに農蠶業獎勵機關及び桑苗生産販賣業者に於て生産せしものを合し生産者數二百三十五人、實生苗三千三百五十二萬四千三百四十本、接木七百三十四萬三千八百二十二本合計四千八十六萬八千百六十二本にて右の內農蠶業獎勵機關としては二十五箇所を以て實生苗六十七萬四千四十本、接木四萬一千六十七本合計七十一萬五千百七本を生產し桑苗生產販賣業者は二百十名を以て實生苗三千二百八十五萬三百本、接木七百三十萬二千七百五十五本合計四千十五萬三千五十五本を生產せる狀況にして京畿道管內は實生苗の主產地と云ふべく全道總生產數の五割七分を占め接木苗に在りても亦慶南と共に主產地の一として屈指するを得べく桑苗生產狀況は頗る好績なりと

◎大田地方の挿秧

大田地方にては去月二十三日適度の降雨を見農家は一般に愁眉を開きたるが何分一箇月有餘降雨を見ざりし事とて用水甚だ不足を告げ早急に植付する事能はざりしが三十日朝より降雨あり同夜及び翌朝に亘り非常の豪雨ありたる爲め大小河川の增水を見用水も潤澤となりたるを以て一兩日中には附近全部の挿秧を終る見込みなりと

多少の變更を免れざるべし

◎立花中將歸任（平壤）

第七十七聯隊第二期檢閲視察のため出張中なりし第十九師團長立花小一郎中將は大沼副官を隨へ四日午後七時二十五分龍山著歸任す

◎古海總長歸期

平安北道管內巡閲中の古海警務總長は五日午後七時二十五分南大門驛著列車にて歸任す可し

◎岩崎男一行動靜

二浦三菱製鐵所視察中なりし岩崎小彌太男一行は三日午前八時平壤著の豫定なりしも都合に依り同日午後九時著柳屋に投宿せしが退壤は五日ならんと（平壤）

◎井上博士去來

南鮮地方巡講中なりし井上圓了博士は四日朝入京直に元山方面に向け出發せり

◎八木氏都督府招聘

李王職囑託八木奘三郎氏は今回關東都督府に博物館を新設さるゝに付招聘に應じて旅順に赴任することゝなりたれば直に李王職を辭し五六日の內出發する事となりたり右に就き氏は今回の任地は滿洲にして殊に北支那蒙古に近く且つ種々の便宜多ければ自分の研究し居たる所の人類學考古學上の大陸に新しき地步を得て誠に愉快に堪へずと語れり

◎小樽高商生來鮮

小樽高等商業學校生徒約十名は來る十日朝著釜一泊の上翌十一日午前十時三十分發行にて北行鮮滿視察を爲し二十四日釜山通過歸校の由（釜山）

◎穗坂秀一氏罹病

全鮮有數の果樹栽培家として鮮果輸出を策せる黃州果樹園主穗坂秀一氏は南鮮地方果樹視察中病魔に襲はれ目下京城田中丸病院へ入院加療中なるが經過良好なりと

◎木浦

▲六月中の貿易 六月中に於る木浦港貿易額は輸移入十八萬七千八百八十一圓輸移出五十八萬三千三百四十九圓にして前月に比し輸移入五萬五千餘圓を減じ輸移出七萬一千餘圓の增加を見たるが一月以降の累計は輸移入百二十九萬五千七百七十八圓輸移出四百二十八萬七千八百七十九圓に達せりと

▲木浦驛成績 六月中木浦驛成績を聞くに總收入一萬七千九百五十四圓七十一錢にして其の主なるものは客車收入七千百四十一圓二錢內乘車人員五千六百七十一人に對する六千七百二十九圓三十六錢（降車人員五千五百十三人）小荷物運賃二百五十七錢其他にて貨車收入八千四百圓八十八錢內貨物四千八百五十三圓二十一錢貨物同百七十四圓七十七錢發送手數料二百十七圓十六錢其他なりと而して現下每日制限特別輸送を引受け居り海藻一日四噸宛（五十四個）綿綿二噸ありと

▲警務部長出張 全羅南道警務部長藤田大佐は二日午前十一時木浦著直に警備船扇丸に搭乘濟州島視察の途に就きしが目下濃霧季なれば日程等は

茶前酒後

◎チエツク族の蹶起は愉快也主義に忠なる彼等が健氣な振舞は愉快也
◎出兵論更に擡頭の昨今聯合側に取ては機宜に應ひし出來事と云ふべし
◎烏港一萬五千の同族軍が愈々本腰に向きたれば芝居は益々面白し
◎今の處同族五萬の軍隊が西部戰場に輸送せらるゝとするも不可能
◎何となれば五萬を輸送せんとせば五千噸級汽船二十五隻をも要す
◎而して此問題は何處の何方が解決するか先づ以て先決の問題也
◎英か米か船腹大不足の今日何處でも此の役目には應じ兼るは當然
◎結局お鉢は日本へ廻り來るより他無かるべし當方とても大に考へ物
◎活かすも殺すも一に日本の措置如何に關すと云ふ事になりはせぬか
◎獨逸の東漸を恐るゝ連中は此際一肌脫ぐ可しと云ふ者無きや
◎彼等に食料彈藥を送りて一番思切り萬丈の氣焰を吐かして見ては如何
◎既に背水の陣を布きし眞劍な彼等の眼中には唯獨墺の敵あるのみ
[illegible]

人事消息

▲小杉平壤無煙炭會社技師長 三日夜東京より入京本知火へ
▲江副大倉組技師長 三日夜入京
▲伊藤眞留正（憲兵隊司令部） 四日朝大邱より歸任
▲矢島金南第二部長 ▲小松平南第二部長 ▲松本慶北第二部長 四日朝退京
▲朴泳根氏（全州農銀重役） 入京京城ホテル滯在中
▲今野治氏（總督府山林技師） 治水及び砂防事業經營狀況視察の爲め東京市長野縣愛知縣滋賀縣に出張を命ぜらる
▲宮木又七氏（全羅南道長官） 出府を命ぜらる

□北海道より（十五）
天民生

北海道の追分は如何にも悲愴の調を帶び、幽咽の情緒纏綿として離き難い。東京の追分は艶氣ありすぎる。越後の追分は品が少い。江差は追分の本場で研究會などもあるといふことであるが、忙しい僕には行く暇が固よりなかつた。月黑く波白く、椴松の森魔の如き夕、或は霧立ち罩むる靜寂な朝、曠野の草袂をしぼり、淚ぐむ頃、行方も知らぬ生別に腸もちぎつた人は如何に多かつたらう。

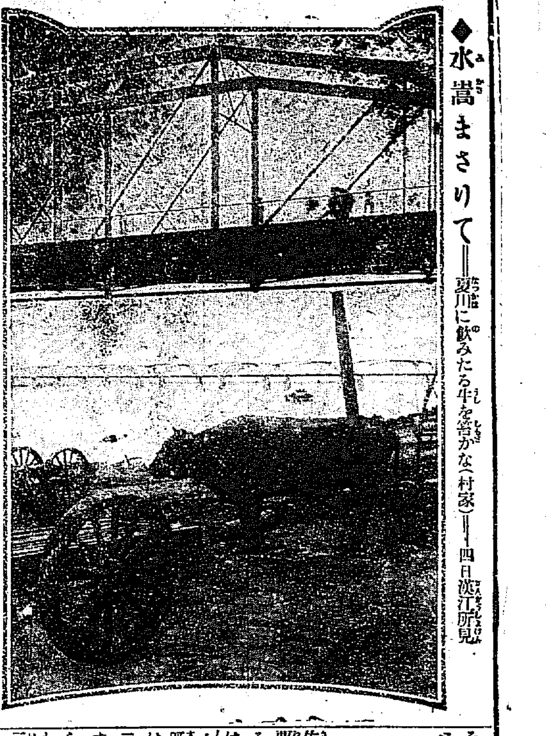
昔の懐さを今にこそ知れ浪荒きカムイが岬にあらねども
追分の悲惱の思ひ身にしみて臨にかくる今朝の君かな
山と谷との間縫く汽車をニシバ戀しと泣くメノコ

送阿部社長辭職歸東
金陵 大垣丈夫

笑倒人間得失頻。文章報國不謀身。五車書卷作先聖。七步詩才本絕倫。湖北風雲揮熱淚。館西男子見天眞。今宵話別南山麓。一醉陶然歸世塵。

學陽曰。一氣渾成。頓挫胸臆。句句皆切于無佛先生。固非綺飾之作也。

表
大正七年七月一日改正現行


◆水嵩まさりて＝漢川に飲みたる牛を密かな（村家）＝四日漢江所見

悪辣な誘惑の罠（續）
貴族の子弟を誘惑する曲者
今後この種の犯罪は峻烈に處罰する

次は同じく不良鮮人の群に多く富豪や貴族の子弟を誘惑する曲者がある、此の方は詐欺賭博のやうに組をなしてゐるものは少く大抵は個人行動か多くとも二三名の連類であるが、此の種の罪は所謂資産家のドラ息子捜しが專門である、捜し出されたが最後、何とか手段を講じて其の子弟に接近して交際を求め遂に

◆良からぬ巷に 引き摺り込む、そして一方妓生や抱へ主夫から高利貸しなどと連絡を保つて盛んに浪費させるそこで金に困れば若者を教唆して親父の印章を僞造させて親の財産を横領させ、或は高利貸しに擔保に入れさして借金させるといふ風で、よしそれが暴露しても親子の間柄だから親は涙を振つても子を助けるのだといふやうな見込みをつけて惡事のかずかずを

◆教唆するので ある。そして彼等は絶えず其の若者から強請るのであるが、萬一夫に應じないと印章や證書を僞造したことを官憲に告訴するぞと脅迫し一方高利貸は裁判所に民事訴訟を起すといふやうな酷い目に逢はせる、是等のことを親父の知つた頃は最早身動きの出來ない始末に陷つて居り泣々も子の愛に引かされて

◆數萬圓の大穴 を辨償せねばならぬといふ破目、放つて置けば財産は差押へられた上に子は入獄といふ結果となる、此の手の誘惑者は内地人にも隨分ある、斯うした事件は大抵裁判沙汰になつて居る、然るに以前韓國政府時代には裁判所でも此の際親が哀訴して世間に迷惑を掛けないやうにして來れば情狀を酌量して幾分大目の取扱ひを施して來た傾向があつた、其の實例も決して尠くない、處で是れが爲め執行猶豫或は起訴猶豫等の

◆恩典に浴した 者が夫れ限り改心すれば論は無いのだが、なかなか改悛しない、のみならずさうした實例を却つて特典のやうに穿き違へして斯様なことが一種の流行的の色調を帯びて彼等仲間には益々惡風潮を形成して居る、依つて裁判所では今後此のドラ息子の浪費者と誘惑者、及び詐欺賭博の被加害者に對しては寸毫も假藉する所なく最も峻烈に處罰する方針である』と（完）

廢帝弑殺は狂言か

一日發伯林經由莫斯科來電ニエカリング勞兵會長は打電して曰く露國廢帝殺害說は公衆を煽動せん爲め仕組まれたる狂言なりと「アムステルダム電報」

放火犯人捕縛

福岡師範の放火犯人は濱田尋常小學校長南條貞氏の長男利三郎（二十）と判明捕縛されたり（福岡電報）

電報は當分延著
滿洲行電報が朝鮮を經由するから
佐連間海底線の故障の爲め

この頃電報が非常に延著する、東京京城間の電報は平生故障もなく輻輳もして居ない時ならば三時間乃至四時間で到著するが昨今は何うしても九時間以上

▽十時間を 要する、それで官廳も銀行も會社も皆困つて居る殊に商人などは之が爲めに肝腎の商機を逸して仕舞ふこと頗る當惑してゐるがこの頃斯く電報の遅れるのは主として佐世保大連間の海底電線に故障があるからだ、一體この佐連線は

▽毎日六千 四百通からの往復電報を取扱つてゐる、ソレが故障の爲め悉く朝鮮を經由する事となつたから朝鮮線は非常な輻輳である、朝鮮線は内地から朝鮮へ來る電報の外に北滿行の電報をも取扱つてゐるので一日の取扱ひ高は少くも一萬八千通を下らず之で

▽精一杯の 所へ六千四百通ばかり餘計なものが殖ゑて來たのであるから如何に努力して見ても線の能力が之に伴なはない、

▼復舊期 早くも廿日頃

佐連線は日露戰爭當時軍事上の必要から急速に架設されたものであるが、架設の仕方が拙い爲めか或は材料が好くない爲めか兎に角屢々故障が多く昨年六月以來今度で既に五回目の故障である、復舊期は尚ほ適確に判明せぬが漸く來る十二日遞信省の修理船が長崎に廻航する事になつたと云ふから夫れから直修理に取懸つたとして、早くも二十日頃でないと完成すまいとそこで昨今のやうに延著するのだと云ふ

▼延著の一因 長文電報の増加
服部京城郵便局長談

近來電報の延著する主因は佐連線の故障に依るものであるが夫以外にも尚近來一般に電報通數の増加したこと及び長文電報の増加したことなども延著の一原因である、殊に長文電報の増加は驚くばかりで以前ならば電報は

▽成可簡略 に々々とあつて『返事を待つ』と云ふ場合でも本文の終りに唯一字『ヘ』と書いて濟ましたものであるが近來は意味の不徹底を虞る結果であらうか、お役所でも商人でも手紙同様巨細漏らさず何に彼も書いて仕舞はなければ承知しなくなつた、所がこの長文電報が手間を取ることは非常なもので中には一通打つのに一時間も懸るのがある、普通の

▽電信能力 は一分間に三百字一時間に一萬八千字であるから五十字一通信としても約三百通以上の電報を處理する事が出來る譯で、結局一時間の長文電報を打つてゐると其間に三百通以上の電報が停滯輻輳する事となり、一般に非常に迷惑させねばならぬ

▽線でも多 ければ兎も角近來は電線の故障以外斯うした傾向もあるので係員が幾ら努力しても多少の延著は免れない

音羽丸沈沒
神戸より大連への途上 全南珍島沖に
乘員卅餘名無事

丸二汽船會社所有（鈴木商店借船）音羽丸（千四百三十一噸）は二十六日神戸發大連へ航行中三十日午前四時全南珍島郡小中闕群島附近に於て濃霧の爲め激流に押し流され機關部の横に大破損を生じ浸水甚だしく三十分間にて沈沒せり因に積荷無く船員野村船長以下卅二名は端艇にて附近の小島に無事上陸し二日午前九時朝鮮船にて木浦に向ひ三日午後七時半木浦へ寄せり尚ほ遭難の場所は水深二十六尋あり引揚見込無かる可し（木浦特電）

▼音羽沈沒 別報
損害八十萬圓

四日朝全羅南道警務部より警務總監部著電に依れば三十日午前四時頃全南珍島竹島沖二十海里小中闕群島南端に汽船一隻沈沒したるより救助船を急派して取調の結果該汽船は神戸西宮の丸二汽船合資會社所屬汽船音羽丸（一千四百三十一噸）の如く乘組員船長以下十三名は無事上陸損害約八十萬圓の見込みなりと原因は未だ判明せず

神童＝大浦泰輔さん
神様から璧を授かつた夢を見て懷胎した……
四百の漢字が讀め三百の名前を諳んず

◇お父さんが四十お母さんが卅二の子

寫眞で見る通り綺麗な顔、賢さうな大きい頭、福々しい耳朶をもつた兒は京城南米倉町百六十四番地大浦延次郎氏の愛兒泰輔さん五歳である、なんでも延次郎氏夫妻は熱心な金光教信者であるが結婚以來十數年間なかつたので非常に悲觀して居たが一夜妻女のせん子が神様から璧を授つた夢を見て懷胎し泰輔さんを産み落すと神様が再び現はれて『汝に與へた璧はお前に與へたのではない産んだ子供に與へよ』と御告があつたので夫妻は此れは屹度神様の授兒に相違ないと信じて居るさうな、眞否の詮議沙汰の要もないが何しろ

神童大浦泰輔さん

▼▲お父さん が四十歳お母さんが三十三歳の時の子で胎内に十一箇月も宿つて居たと言ふし頭の鋭敏な事は驚くばかりで一回か二回教へられた事は決して忘れずに三歳の時は既に百以上の漢字を讀み昨今では三四百の

▼▲漢字を 讀む許りか歴史上の人物の名前なども三百以上も知つてゐて問へば直ちに答へるさうで記者が訪問の際は午睡の時刻でもうそろそろ眠氣がさしたのか欠伸を連發してゐたが[illegible]から京城、東京、宮城、天下泰平など書けばすらすら讀み、新田義貞はと問へば生立から戰死した場所まで答へ

▼▲赤穂義士 に至つては四十七士の名前から得意までも知つて居る、此の不思議と思はるる程記憶力のよい頭を持つた泰輔さんの腦神經系統は二重に働くらしく同時に左右から物を問へば兩方に答へるとか昨年あたりは箱の中に饅頭や木を入れて

▼▲透視を させると暫くじつと凝視た後何々と答へたが十の中三回か四回は適中したさうであるが併し腦を痛めてはとの注意から無理な事は止めて居るがそれでも[illegible]

▼▲泰輔さん の好な物は本でもう二百冊からの本を持つて居り撃劍も好きやんちやも好き眠る事も好き只嫌ひなないのは自分より年下の子供と遊ぶ事ださうであると兩親は眞人にしたいと言つて居る

▼▲掌中の 璧と慈しみ時には神様の子を育つて居るやうな心持がすると述懷を洩す事もあるさうである

一萬圓寄附
獎學資金の中へ

木浦棉業會社の美擧 木浦棉業株式會社は既記の如く這般日本棉花木浦棉業の兩會社と合同大會社を組織する事となれるが最近重役會議を開きたる結果府の獎學資金中に一萬圓を消防資金中に一千圓を其他木浦青年會等にも夫々金員を寄附するに決したり一萬圓を如何に處分するかは未だ決定せざるも木村同社長は之を据置貯金とし其利潤を以て幾多の秀才を教育するの私案を有し居り多分此方面に使用する事となるべし（木浦）

二兒壓死す
大雨の爲家屋倒潰して

二日午前九時半頃大雨のため公州本町三三四姜鳳玉方にて鳳玉夫婦の外出中家屋倒潰し長男相連（八）次男相國（三）の兩兒壓死したるが該家屋は古き建物にて其筋より再三改修注意を受けゐたるものなりと（公州）

二瀨炭坑判決

八幡製鐵所二瀨出張所事件判決は十二日言渡さる（福岡電報）

青木兒氏講演

天才樂家として名ある日本日曜學校協會音樂部長青木兒氏の入京を機とし京城高等女學校にては五日午後四時より同校講堂に於て同氏の音樂に就ての講演を依囑せり

紙上寶探し（五）

やア能く見ゐると凸君大悦こび下のおぢさんも無我夢中勝負が決まつて萬歳と叫んで兩手を擧げると上の凸君其拍子に宙返りをしながら負けず劣らず大きい聲で萬歳

讀者文藝

▲ものは附『心細いものは』
◎大正の青年と帝國の前途（一等）　龍山元町四丁目一一六番地　西村秋芳子
▲日々上がる米の相場　安東縣　愚彦生
▲滿洲里の居留民　京城　のぶ介
▲軟弱の外交　義州　松月
▲商紹者と二割五分　龍山　春香生
▲聯合軍の戰況（先著）　[illegible]
▲京城の水道（先著）　京城　金子生
▲日本の飛行界（先著）　仁川　徳坊
▲老の身の獨り生活（先著）　仁川　松洞

釜山の豪雨
坪に一石一斗

まだ豪雨があらう 三日午前一時五十六分より降出したる雨は本年入梅以來の豪雨にして九日午前十時迄に六十四粍四厘即ち一坪に一石一斗七升九合の雨量あり各所に溢水を見たるが今月中尚五十粍位の豪雨あるべしと測候所長は語れり（釜山）

運動界

▼實業大勝 三日實業團對明治大學野球試合は明大振はず七對十三にて實業大いに勝てり（大連特電）

馬賊跳梁
討伐のため出動す

六月十日各自銃器棍棒を携へたる馬賊約二十名は延吉縣平崗上里二道溝薪場里に現はれ夜陰に乘じて同地移住鮮人雜貨商數軒を襲ひ金品約四千圓を強奪し且つ鮮人婦人を脅かし更に同地保衛團を襲撃し銃七挺彈藥三百餘發を奪取したる上安圖縣方面に逃走したりと右情報に依り延吉縣頭道溝保衛團兵四十名及び古城子支那守備兵約二十名は之が討伐の爲め六月十四日前後して二道溝方面に出動し目下搜索中なりと

エカテリンブルグに於ける露廢帝弑逆が事實として近傳へられたが、尚、（否定出來ぬ事情もあるが、恐らく虛電であらう）といふ所であるらしい▲そして萬一、それが事實とすれば、何より過激派政府の大失態といふべく、これが爲め多くの露國民の信用を失ふことになるであらうと消息されてゐる▲率直にいへば、近來大地主、民主派の人々の間に復辟運動をする傾向があるのでこれを恐れたか▲過激派中の一部無智の輩が祖先から專制政治の下に苦しんだといふ皇室に對する恨みから、毒手を及ぼしたのかといふのだ▲エカテリンブルグは所謂エカテリナ女王の町でロマノフ王家發祥に因縁深い町である▲此地に於ての兇變が事實とすれば今更に人の運命の數奇に驚かれる▲廢帝は一八六八年五月十八日の誕生で今年五十一歳である

阿部讓氏追悼會

鮮銀理事故阿部讓氏の追悼會は東京に於ける葬儀と同日の五日午後五時半より永樂町西本願寺別院にて執行すべく鮮銀理事三島太郎氏友人總代として弔辭を朗讀し後焼香等の事あるべし

商況

東京期米特電　三日後場　一信　二十五圓四十錢　二信　[illegible]　三信　[illegible]

兵庫期米特電　三日後場　一信　二十四圓八十二錢　二信　九十一錢　四日前場　九十錢

大阪株式特電（拂込額・三日後場）
宇治川水電　[illegible]
大阪電燈　[illegible]
東洋紡績　[illegible]
合同紡績　[illegible]
鐘淵紡績　[illegible]
同上新株　[illegible]
東洋製糖　[illegible]
大阪商船　[illegible]
日本郵船　[illegible]
同上新株　[illegible]
堂島米穀　[illegible]
東京株式　[illegible]
大阪株式　[illegible]

大阪三品特電　四日前場　七月限・八月限・九月限・十月限・十一月限・十二月限　[illegible]

大阪期米特電　四日前場　當限寄付・中限寄付・先限寄付　三節　[illegible]

下關期米特電　[illegible]

雜報

◎綿絲布不勢　大阪　[illegible]
◎漸次正味値實行　[illegible]
八圓五十錢處　[illegible]
◎皮革類弱持合　在荷の潤　[illegible]
◎麥粉徐々下押　現物及期近物は徐々下押し歩調　[illegible]
◎砂糖ヂリ安　當に下四圓六十錢見　[illegible]
明治製糖　百二十五斤表の大連より振替輸入　[illegible]
◎正米氣締まり　[illegible]
◎毛斯徐々好勢　六十錢見當の明治精糖四圓三四十錢　[illegible]
◎染料氣配強硬　[illegible]
◎煉乳の昨今　[illegible]
◎洋釘益々高し　内地製釘一圓五十錢高の入電　[illegible]
三圓方の昂騰　演出　追々變動　[illegible]

仁川正米　[illegible]
生魚市場　[illegible]
仁川期米　四日前場（依然保合）八錢高に寄付　[illegible]
下關相場　[illegible]
大阪天候晴　天前寄二十四圓　[illegible]
南大門廻穀　[illegible]
各地商況　[illegible]
市場雜觀　三十六錢と昨止り十錢安　[illegible]
仁川取引所　四日の九月限　[illegible]
北濱たより　眼先動かぬ　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　今村覺次郎　仁川海岸町三丁目　電話長三三六　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　廣澤正次郎　仁川海岸町三丁目　電話長一六番　[illegible]

仁川米豆取引所仲買人　仝仲買店　電話一五八番　[illegible]

仁川海岸町　岩重仲買店　電話五一〇六番

白米小賣値　一等白米　二十八錢五錢　二等白米　二十八錢
白米標準値　二十七圓六十錢
青物小賣値　[illegible]

[illegible]

仁川米穀取引

[illegible]

◉連絡船上陸客 三日朝釜山入港新羅丸一二等客

同じな子、林忠勇[illegible]、吉中田貞男、篠永重吉、小泉義四郎、中原健四郎、小山良哉、杉秀夫、同たれ子、石丸末、宗政作次、山宮田男次、高井俊[illegible]玉三、志道貫夫、栗田久一、薪田谷伊之助、板倉久太郎、園技博、高島榮、大屋初五郎、宇佐美がれ、林田吉藏、小林

[illegible]

◉慘たる避難民の窮狀
日本人官民の熱誠なる慰問救濟

滿洲里よりの情報に依ると同地の避難民救恤所委員部が訪問して救助を乞ふもの頗る多きが其の中にオノン河畔某コザック兵村の避難民百三十二名を代表してセミヨノフ軍經理部避難民救濟局に救助を求むべく來りたる男あり

◇◇彼れ哀願して云ふ◇◇

『我等は滿洲里より百五十露里乃至三百露里に亙りたる曠野中に野營しつゝあるが、ボリシエウイキの襲擊により取るものも取りあへず著のみ著のまゝ遁走したるもの多く、多くは北頃著用せし冬外套の外に著換へ無きは勿論天幕をも持たず

◇◇家財を運ぶ暇なく◇◇
◇◇僅に牽ける家畜類◇◇

を追ひつゝ遁れ來りたれば、今や喰ふに食なく、寢るに家なくテント無く風雨に曝されつゝ、野犬にゴロ寢し悲慘なる狀態にありとてセミヨノフ軍に救助を求めたる處規定により五日分の配給をうけたるも、既に飢餓に瀕せる窮民には燒石に水にて將來の方針立たず、然るに當地まで往復五週間を要すれば五日間分の食料を得る爲めに態々出て來るのも容易の業にあらずとて只管窮狀を訴へて救助を乞へり而して同地

◇◇在留邦人官民有志◇◇
◇◇が彼等を救恤せる◇◇

狀態を聞くに露國人は日本人の態度を空前の美擧として益々我に信頼の度を高めつゝあり即ち在留邦人は彼等避難民に對し一人に付二十留內外の食料雜貨を配給しつゝあるが殊に先般の地久節に際しては奉祝の意を表するために避難民の小兒六百餘名內外を悉く日章旗の下に集め南京豆の多數に分配したり夫より引續き毎日馬車を曳き、箱、袋をかつぎて我が救恤部に避難民押し寄せ來りたるの盛況なり又六月二十七日二十八日の兩日はブリヤード避難民（一千八百名）の慰問救助に遠征せんと一行は委員、ブリヤード代表者其他合せて十數名、貨物自動車三臺に砂糖、煙草、布帛、マッチ其他の

◇◇厚き同情を籠めし◇◇
◇◇くさぐさの贈り物◇◇

を積みて二十七日午前五時滿洲里を出發したり、ブリヤード代表者は委員と協定の上、滿洲里附近の避難民を二箇所に集め置きたれば、一行は先づ滿洲里南方三十五露里の地點なるダンマクに赴き慰問をなし、物品の配典、病人の診察施藥を終へ次に同地より東方四十露里の地點なるダライ湖畔に赴きて彼等の天幕內に宿泊し二十八日朝附近の慰問を行ひたり（哈爾賓）

◉又た新借款
◆一は調査中一は頓挫◆

▼印紙　支那政府は印紙稅を抵當とし日本より二千萬元を借款せんとし既に二回の交渉を經て利息問題を解決し只日本側にて調査の必要あり目下財政部員と立會調査中なれば近く第三回の交渉開かれ何等かの決定を見るべしと

▼森林　支那政府は某銀行總理の仲介によりて吉林省某大森林を抵當とし日本より二千萬圓を借款せんとこの說あり既に財政部の贊同を經たるも農商部の反對に遭ひ頓挫し居れりと（北京）

◉合辦電氣業
◆支那政府と日米人◆

過般來計畫中なりし日支米三國合辦電氣會社は愈々成立を告げたり資本は米貨百萬元にて半額を交通部より半額を日米より負擔すべし本店は北京に支店を支那各地に設くべく電信電話電燈機械材料の供給を目的とす總裁を葉恭綽氏とし日本側は中山顧問專務取締役たり（北京）

◉吉會線と天寶山

吉林省天寶山銀鑛の經營者たる大興公司にては吉會鐵道借款契約調印せられ近き將來に於いて愈々起工せらるゝ事となりたるを以て之れが支線として天寶山に通ずる輕便鐵道を敷設せんと計畫し目下手配り中なり（北京）

◉簡易に製する澱粉

平安南道に於ては澱粉事業として未だ工場を設營し製造に從事する者なく僅に寧遠德川孟山陽德順川の郡部地方にて馬鈴薯を栽植して製造するのみなり製造の沿革は別に特記するものなきも山間部地方殊に火田民の生活せし地方は馬鈴薯に依つて生活し蕎麥を混じて常食せし等のことあり而して製造の方法は馬鈴薯の皮を剝がざれば水に浸し鉱力板に穴を穿ちて大根おろしの如く爲し之れにて擦りおろして桶の中にて晒し桶底に沈澱したるものを日に乾して澱粉となすものなり大正六年中に於ける製造數量左の如し

寧遠郡（一千五百十二貫）德川郡（千七百貫）孟山郡（十五貫）陽德郡（二百六十一貫）順川郡（二十五貫）計（三千八百三十貫）

而して此等の原料たる馬鈴薯の栽植面積は以上各郡を通じて二萬二千六百反にして馬鈴薯の收穫高二百七十四萬四千三百二十一貫此內馬鈴薯の備自家用食料として一萬八千百七十貫製品たる澱粉は平安南北各地及び咸鏡南道に販路を得て輸送せられつゝあり本事業も農家の副業として有望なれば平安南道廳に於て獎勵しつゝあるが將來馬鈴薯の栽植增加するに至らば更に有利の事業として多量の產出を見るに至るべしと因に平安南道の澱粉生產額は三十二萬貫にして價額一貫目上等八十錢、中等六十錢、下等五十錢位なりと（平壤）

◉奇襲功を奏して
敵騎潰亂す―セ軍の奇捷

第二のセミヨノフとして驍勇比なきマッエフスキー大佐の率ゆるモンゴロ、ブリヤート騎兵聯隊（兵員五百）は滿洲里北方三十露里の地點なるアバイドに屯せる八百の敵軍騎兵隊に對し未明に乘じて奇襲を試み直ちに敵の本營を衝きたるが折から土人の內通するものありて多少彼等に時間を與へたる爲め全滅するには到らざりしも

敵は中隊長始め 三人の將校俘虜

となり馬匹七十、小銃百挺を鹵獲し、され無數の死傷者を出して潰亂したるがモンゴロ、ブリヤート聯隊の追擊猛烈を極めたるため敵は河に壓迫され溺死したるもの數を知らずと尙ほ捕虜將校の言によれば日本出兵の風說に驚き我軍大に動搖し引揚ぐるものも少からずとセミヨノフ軍の士氣大に揚りつゝありと（哈爾賓）

◉仁川と仙掌
◆知渡らざる地なれど◆
その貿易額は附近第一位

忠淸南道牙山郡仙掌港は近年に到つて著しく發展の傾向を示して來たが今日仁川との沿岸貿易は實に其第一位を占むる肝要の地なるに拘はらず仁川では餘り多くを認められてゐない仙掌が沿岸貿易港として名を知られて來たのは遂ひ三年前からの事であるが地勢上重要の地位を占めて居る仙掌は其の異數の發展を示してゐる事に就て驚くべきものがある但し仙掌は其地が發展したと云ふのでなく一寒村たる仙掌は未だに內地人戶數僅に十五戶鮮人戶數亦多くを有するに過ぎないが附近に連なる

◆◆忠南北部沃野の物貨◆◆

は皆此の仙掌の地を經由して移出入せられつゝある忠南過半の住民が今日の衣食の料は全部此の仙掌港に依つて吞吐されつゝありと云つても好い位將來の發展は又見るべきものがある試みに沿岸貿易の統計に就て見ると彼の最も主要なる取引先として重要視さる

◆◆海州杆よりも遙かに◆◆

其の數に於ては增大である仙掌が寄航地として知られて以來如何に急速の進步をしたかは其の貿易額に就て見れば明瞭である即ち仁川の沿岸貿易中に於て大正二年度仙掌との貿易額は移出入合計十九萬四千二百五十七圓大正三年は三十八萬三百九十圓然るに同四年には八十三萬六千七百七十六圓其の倍加しつゝある貿易額は到底海州

◆◆龍山等の比ではない◆◆

即ち大正四年度に於ける龍山の貿易額は七十二萬二千五百九十四圓海州は三十九萬九千七百四十圓に過ぎない斯の如くして仙掌は仁川對沿岸貿易港としては遂に第一位を占有して居るのである最近に於ては實に百五十萬圓を下らぬ程度まで仙掌よりの移入品は日常雜貨を主とし仙掌への移出品は忠南の產米を主とから供給しつゝある有樣であるが然るに該地には仁川から未だ一人として手を出した者がない

◆◆二三の內地人雜貨商◆◆

はあるがそこには支那商人が手を誑けて忠南北部一帶の雜貨類は一手に自己の利益の中に納めつゝあるのである仁川からは毎日石油發動機船が同地と往復して居る事は既に周知の筈であるが此の肝要の地に仁川商人の未だ一手も染めない事は遺憾の次第で今少し著目する處があつて好いとは某有力者の視察談である最近に於て該地は郵便所設置の事を當路に建議したと云ふから益々各方面に就て便宜になるであらう（仁川）

大雨…被害

▲忠淸南道▲
公州淸州鳥致院間の交通杜絕す

鳥致院の被害僅少なり

鳥致院の出水は減水後幸ひに左したる被害なく郡廳憲兵隊の調査によれば昨年の水害に比し此程度少なりし由目下淸州街道及び公州街道は途中決潰の場所あるため自動車の運轉不能となりしが兩三日中には開通すべし（鳥致院）

流石は公州橋也
今度の濁流で市民安堵す

公州邑內の中央を貫流する濟民川に架したる櫻橋、榮橋ともに激流の爲め一時は危險に瀕したるも道廳、財務部、憲兵隊、警察署員は固より消防組等出動して防水に努めたるを以て幸ひに無事なるを得たり此櫻橋と榮橋との中心にある公州橋（鐵筋コンクリート）に就ては初め種々なる杞憂を抱きたる向ありしも今回の大雨により全く堅固なる事實を見實地通水の綽々たりとて市民は皆安堵せり（公州）

◆道長官の巡視　上林忠南道長官は二日午前五時折柄の豪雨を衝いて邑內各處の被害地を巡視し遊谷第一部長山本土木主任も隨行せり

◆公州邑內被害　公州邑內に於ける主なる被害は濟民川兩岸の崩壞延長五十間浸水家屋百八十五戶（床上六戶床下百七十九戶）也（公州）

儒城地方の損害

大田附近なる儒城溫泉場方面の堤防缺潰したる事は既報の如くなるが金大田郡守の實地視察したる結果を聞くに復舊工事費約一千圓を要すべく其の他の小損害を合すれば千四五百圓に達する見込みなり

橋の足場流さる

目下改修工事中なる京釜線大川驛若間白石川の架橋工事足場は一日午前九時頃豪雨增水の爲め流失したるが丸太用材其の他の損害は約六百圓位なりと（大田）

▼慶尚北道▲

其後慶北警務部並に道廳に達したる情報に依れば前報の外醴泉、尙州、慶州、安東、醴泉金泉等の各地方とも附近の河川增水し四邊との交通杜絕したり

被害家屋と死者
交通電話の不通と橋梁

就中被害の大なるは醴泉郡にして一日夜九時半著電によれば漢川の出水は其後約三尺減退したるも尙同地憲兵分隊長以下隊員總出にて消防夫を激勵し防水に努力しつゝある模樣にて同郡柳川面牛坪洞居住魯東村外三名の鮮人は堤防修築中激流に攫はれて溺死を遂げたりと尙同地に於ける其他の被害に就ては詳細を知るを得ざるも尙州郡にては洛東江にて渡船一艘流失し慶州郡にては橋梁の一部破損又安東にては浸水家屋四十六半潰家屋六戶を出し醴泉榮州方面との電話不通となれり

五橋梁流失し
榮州邑の架橋亦流失し

其他慶北道廳に達したる報告に依れば京釜間一等道路中の鎭南、和泉の二橋並に善山、龜尾間三等道路に在る甘川橋、永川、慶州間三等道路に架設せられある漢川橋は孰れも流失し榮州邑內入口の榮橋亦危險の狀態にあり其他咸昌安東間の禮川橋及び安東邑內入口の橋梁は孰れも流失し安東の堤防三十間亦決潰せりと（大邱）

◉故渡部校長法要

平壤大和町小學校にては六日午後四時半より故渡部校長一周忌法要を營む由（平壤）

◉海水浴場として
硝子原料の產地として 鯨の捕れる所として 名高き大黑山島

全南木浦より南方五十海里山紫水明の仙境として冬季より春にかけては每年百頭に近き捕鯨の好根據地として有名な又硝子製造原料の砂の產地として無盡藏の寶庫たる大黑山島は近來に至り益々發展を來し明治二十四年以來從業せる丸一組の鮑の鑵詰は五月上旬より海士五十餘名來島し盛に採取作業をなし鯛、海鰻、鰆、鱗等の延繩にして根據を同島に置くもの百餘隻に上り漁夫及び買出人相手の料理店の開業せられ十名の酌婦は絕ず

◇◇料理店三軒は永續的◇◇

活動せる狀況なるに見ても同島附近の漁況如何を卜するを得べく殊に夏季の避暑地として最も適當の

水淸き一面の砂

は恐く硝子製造の原料たる砂礫にして且つ遠淺なるを以て婦人子供の遊び場所に適し鬱蒼たる樹木の綠陰に俗塵を洗ふに足り朝鮮郵船の定期船は七日目を以て同島に寄港し海上僅に七時間以內の航海にして內海の航行なれば

◇◇船の苦しも捨れざる◇◇

航路なるのみならず硝砂の產出は益々盛んに（二十五日夕刊木浦紙仁川通信對照）して一箇月平均二千八百噸を若松に移送しつゝあり現に一號より九號迄の內一號の外三號以下に着手し二十五噸積帆船七隻八十噸積帆船五隻に積み置き、筑前若松なる牧山工場及び枝光工場に使用せるが同島に於ける鮮人夫に支拂ふ賃金一ヶ月一千四百圓內外にて同島民生活の七分以上は同人夫賃に依りて支へられ居れり今般更に八月より開始の筈の道九味浦の硅砂は品質に於ては大黑山島產より二パーセントの差を有し九十八パーセント大黑山島產は九十六パーセントなるも硝子製造上には殆んど同一なるを以て同所より採收せんとするより一箇月平均二千噸を採收の豫算にて目下木浦大田造船所に於て新造中の五十噸積帆船五隻を以て輸送の準備中なり而して同浦の硅砂は同社使用二三年の見込にて大黑山島硅砂採取を止むる事なく今より幾百年かは繼續するものと見て可なりと（木浦）

◉釜山第二棧橋
◆愈々使用を開始す◆

釜山第二棧橋は愈々去る一日から使用開始されたるが二日午前十時關釜連絡貨物專用船御裳丸が繫船始めをやつた非常に遞航を氣にしてゐたに拘らず僅かの間に曳船もらずに安々と南側基部に九百噸の船體を橫付けにした當日は大谷監視課長、岡村驛長、花房鮮鐵助役、芦田棧橋長、藤山商船支店長及び社員も初荷役檢分に出掛けてゐた繫船から荷役の狀態等何等滯りなく至つて好成績であつたのは案じるより生むが安かつた故に釜山では安心して是から第二棧橋を利用したいものである（釜山）

◉用向は殖產銀行

日本銀行片山理事は殖產銀行設立に就ての調査用務を帶び三日午後三時三十一分平壤著列車にて京城より入壤柳屋旅館に投宿四日京城に向け出發の豫定なり（平壤）

●夏蠶掃立●少し　忠南大田郡內に於ける夏蠶掃立は本年春蠶期に於て何れも桑葉不足を告げ夏蠶を飼育すべき桑葉の剩餘を見ず夏蠶掃立は殆んど語るに足らず僅々三十枚內外に過ぎざる見込なり（大田）

◉馬賊の被害
◆上半期に一萬五千圓◆

鴨綠江上流馬賊の被害高は本年は稀に見る猖獗を極め最も狩擊を蒙れる地方は八道溝一帶の伐木地にして今や全く馬賊の巢窟と化し到る處被害の程度を增し支那側討伐も殆んど持て餘し居る狀態なりしが本年一月以降六月中旬までの被害總額は約一萬五千圓餘なりと（新義州）

●自轉車で遊興　平壤櫻町九宮城靴宮城政憲町生れ宮城渡邊武雄ことと佐藤武雄（二七）は同町煉瓦職河村德三郞方より自轉車一輛此價格七十五圓のものを竊取し同町遊廓敷島樓抱へ娼妓末廣の許にて遊興せし事發覺し寺田刑事に取押へられ餘罪取調中（平壤）

◉若き女を人質
十三名より成る馬賊團

新式小銃其他多數の武器を攜帶せる馬賊約十二三名より成る一團は平安北道厚昌郡金洞面章興駐在所上流三里の地點に侵入し同地居住の鮮人筏夫金永昌方を襲ひ現金七圓及び指環反物等此價格十數圓の品を强奪し去り又た同下流一里餘の周洞鳳德振方を襲ひ一齊射擊をなして家人を威嚇し同家に避難中の支那人李女（二三）を人質として拉去し多額の現金を調達せざれば放還せずと稱して引揚げたるが是等馬賊團の攜帶兵器は騎銃（二）步兵銃（五）拳銃（二）銃劍（二）にしてペッパ對岸より支那人所有の獨木舟に乘じて渡江せしもの、如し尙周洞に於て該馬賊等の遺留せし三八式步兵銃實包三藥莢一裝彈子四十一個あり目下碧潼憲兵駐在所に保管し支那官憲は活動を開始せり（平壤）

◉成金の茶代
◆すつきり外れ◆

何んといつても朝鮮は朝鮮、すつきり外れの而かも海陸なる新義州の事である四五日前のこと平壤で材木成金と噂の高き某氏が新義州の鄕屋旅館に泊つて茶代を女中其他雇人一同への寸志として三百五十圓放り出して大に成金振を發揮したとか、新義州から歸つた人は物語つた（平壤）

◉苹果の初物（大田）　大田市場には去月末頃より『早生祝』と稱する苹果の出廻を見たるが品質良好にして價格は一貫匁六十錢見當なりと

◉車中より
八島生

◎私の乘つた大田發午前五時三十三分發列車は伊院から二十名と深川から十二名の小學校通學兒童を乘せた、然して次の永同驛へ著くと伊院から乘つた生徒は全部降りたが何故か深川の生徒は降り樣ともしない、私は不思議に思つて一人の生徒に『なぜ君達は永同の學校に行かないのか』と聞いて見た

◎『をぢさん、僕達も伊院の生徒と同じ樣に永同の學校に行つてゐたのだが深川の者は學校組合に寄附金が納めてないから、それで先達て亡くなられた前の永同校長に香典が贈らなかつたからお前達はもう今日限り永同の學校へ來る事は出來ないつて學校組合から斷られたの』と、如何にも淋しさうに云ふ『それでは今何處の學校へ通つてゐるの』と聞くと『黃澗の學校です』と答へた、然うして其の生徒達が永同學校を斷はられると黃澗學校の兒島先生が氣の毒に思つて快く同校に收容して親切に教授をしてゐることまで話して聞かした、此生徒達の言ふ事が事實とすれば、それこそ教育界の問題であると思つて私は事實を調べて見た、そうして生徒達の言つた事が一々事實であつた事を發見すると共に黃澗學校が永同學校から斷はられた深川の生徒十二名に對し同情の餘り陝隘の教室を開いてまで收容した處が突然學校組合から補助費取消しの問題が持上つたので黃澗有志は甚だ激昂してゐると云ふ事である併し私は此の問題で補助費を取消すと云ふ事は信じられない

◉慶州より
佐々本生

慶北の東海岸浦港並に新羅の舊都慶州の此頃は朝鮮輕鐵、邱浦線が八月一日より全通開業の運びに至つたのと今秋大邱に開かる、慶北第二回物產共進會の前景氣とに依つて活氣を呈し來つた事を承知し松川釜田、千葉時報兩支社長と共に同地方視察を企てたが輕鐵本社にては大いに是れを贊同して自動車を提供し池上庶務課長が東道する事となつた輕鐵にては民報社にも交涉したが支障あつてか七月四日頃に別支立にするとの事で此行に加はらなかつた、予等廿八日午前九時輕鐵本社に集合し直ちに出發した此日朝來細雨徵々として降り農家に取りては無くてはならぬ雨なれども聊か悲觀した然し炎天に塵埃を浴びて疾驅するよりは慥に好いと負け惜みを……イヤ實際好都合であつたので正午十分過ぎて慶州に著いたが雨は全く晴れて涼風颯々意氣大いに昂り晝食を濟まして古跡視察にと再び自動車を驅つた（古跡其他の視察談は更めて通信する事にする）輕鐵慶州出張所からは岩永理事其の他の諸氏頻りに斡旋し古跡視察の東道は岩永氏を煩はし佛國寺石窟庵及び玉山書院の外は凡て視察して宿に戻つた

◎わきが必治劑　わきがは昔から不治するものでないと云ふ人もあればわきがをなほすと外に病氣が起るなどゝ申して悲觀しつゝありしが今回東京府下淀橋町柏木東京傳愛藥院晉尾博士が見藥チゼン液を患者に實驗するに奏効確實にして全快者より禮狀每日山の如く深山來るとのよし

◎あざ、そばかす藥發見　世の中が進步すれば有難いもので行るあざ、そばかす、ほくろ入墨が僅か十四五日できれいに全治するとは誠に便利になりました一日も早くきれいに全治の御身になりたいと思ふ人は東京府淀橋町柏木東京傳愛藥院へお問合せなさい

農信

▼慶北農況（稻と麥）

本年は春期旱魃の影響を受けて麥の成熟四五日遲延したるも豫期以上の豐作にて爲め各農家は收穫に手數を要したるも既に九分通の收穫を畢りたれば慶北百五十萬の農民は喜びに滿ち居れるが更に又天水畓の農民は是亦適雨を得て一齊田植を完了し其他の作物の發育も亦期待して止まざりしに去る三十日に至り果然待望せる降雨を見たるを以て夫婦の農民一齊に植付を了へたる見込にて尤も今回の降雨は各地方とも三十日より連續降雨を見たる大邱附近の如きは今日迄に四日間は連續降雨ありて有効なるも既に插秧時に於ける我樣れば地方に依りては多少の被害は免れざるも必ず收穫を終りたる稻苗の如き長時の浸水狀態を持續するに於ては無論腐蝕の虞れなしとせざるも數日間の浸水の如きは左して危險する程の事にも非ざる由なれば大した被害は見ざる見込みなりと而して元來の豫想は挿秧期に於て大體の見當はつくものにて完全に植付が了するに於てはどう程作る豫想し得べきものにて由來るが上本年は麥類の價格昨年に比し高價を唱へ居り、時價大麥七圓小麥十一圓に何れも昨年より三圓餘の高價なれば慶北の農民は今秋の豐作を豫想すると共に一方豫想以上の麥の相場に大喜悅の體なりと慶北農業主任技手は語り居たり（大邱）

婦人の職業
產婆學
速成通信教授
◎金を掛けずに自宅で勉强が出來て僅か六ケ月で卒業し一切の開業の手續も便宜特典を與ふ今や全國何れの地も新智識の產婆を求む多大の收入保證を與ふる職業の婦人はハガキにて生涯の基を作らんとする方は規則書を申込むべし
◎東京淺草千束町郵便局前
大日本助產婦學院

毒の病で苦しむ人に
梅毒淋病リウマチス瘰癧其他有ゆる病の特効藥にて必ず全治する事を保證す
外に僅少の資本で必ず成功保證の本社製劑四方の特約店を募集す
東京淺草千東町二
旭製劑株式會社

第壹回決算報告（自大正六年十二月 至大正七年四月）
貸借對照表

資產之部

科目	金額
未拂込株金	一〇〇、〇〇〇.〇〇〇
鑛業權	二三、〇〇〇.〇〇〇
山林	三九五.〇〇〇
土地	三八〇.〇〇〇
建物	七、〇二八.九五五
軌道	六、二三八.四三六
坑道	二九、一六五.〇〇六
機械及建設費	三九、四五七.六二八
什器	一一四.五五〇
商品勘定	九八四.五七五
在庫品勘定	一一、五一八.五〇〇
他店勘定	二、九三一.一三八
假拂勘定	三、二〇九.三八〇
金銀勘定	二、七一〇.六七五
當期欠損金	一三、一四六.二四七
合計	二四〇、二八〇.〇九〇

負債之部

科目	金額
株金	二〇〇、〇〇〇.〇〇〇
借入金	三九、九五五.〇九〇
身元保證金	三二五.〇〇〇
合計	二四〇、二八〇.〇九〇

右之通候也
大正七年六月
東京日本橋新右衛門町十四番地
生氣嶺粘土石炭株式會社

原料貸與 職業
前途最有望なるパナマ帽子及ゴム職業年中無休自宅就職製品引受工賃現拂熟練一圓五拾錢迄確實案內書御一報次第呈す
大阪本町信濃橋東詰振替阪一〇七〇六
代理店募集
東洋物產合資會社

實用パン製造法
過去三十有餘年間パン製造に從事せられたる吉田忠氏の名著にして營業者は固より有ゆる家庭の人々にも種々のパンが作り易く且つ直ちに實地に應用の出來るやう親切丁寧に詳述しあれば一般衛生經濟を重んずる人々殊に脚氣胃腸病患者等には有益缺く可らざる良書なり
＝內容一般＝
仲種パン製法◆小麥の製法◆水種の製法と溫度◆直捏パン製法◆焙燒に關する特徵◆ロール製法◆パンズ製法◆ウヱーマン・ロール製法◆フランチ◆四パン製法◆玄米パン製法◆ドライ・ブレッド製法◆小形食パン製法◆佛國パン◆燒パン製法◆乙種麥燒パン製法◆ライ・ブレッド製法◆角パン製法◆甲種燒パン◆水種パン製法◆燕白パン製法◆カメパン製法◆菓パン製法◆燕パン◆ヤム製法◆燕ジャム製法◆燕ジャムパン製法◆鈴頭製法◆バター製法◆林檎ジャム製法
一部定價送料共金二十五錢
◆蜂印乾燥パン種 六個入一袋（一個約十五斤分進呈）定價金廿五錢 送料二錢
◆パン種入玄米粉（製造法說明附）一袋 定價送料共金十二錢
このパン種を使用すれば以上の玄米粉パンが誰々十五分間にて容易に完全に出來上ります
發行所 會長板垣伯夫人 顧問大隈侯爵 株式會社東京割烹講習會
東京本郷御茶の水 振替口座東京一九四二〇番 電話小石川二六四三番

帽子原料附屬品商
大阪高麗橋東詰
江指商店
電東長一六一・三六六三

男のひみつ病
最高名譽大金牌 專賣特許
最有効の完全なる空氣水合併療法
◉東京順天堂病院初め多數博士御證明
包皮手術を要せず輕便に治す
手島式眞空療法器は自宅で簡單に用ひ一切效能確實 急慢性淋病
ハガキで申込めば說明書を無代進呈
他と比較を希ふ
東京本郷區本町三ノ廿五 手島式眞空療法研究所
大阪北區北森町一番地 大阪新法研究所
京都市烏丸通リ魚ノ柳下ル 京都新法研究所
京城本町二丁目浦尾旅館前 朝鮮新法研究所

定價 壹圓五拾錢 送料八錢
責任保證正十四金ペン付
飛ぶ樣に賣れる
萬年筆界に空前のレコードを造つた本品は今回上記の新製品を發賣致しました意匠の新鮮價格の低廉等は既に定評があります發賣以來非常の賣行故品切にならぬ內即時振替東京三八七〇二番へ振込あれ
實用向五拾錢 少年用卅五錢
TRADE MARK
トーピード萬年筆
發賣元 東京淺草新福井町 愛國製作所

大連燒酎
夏季の最適飲料
香味淸烈
大連燒酎製造所
九鬼榮助

京城三ツ矢サイダー組合
組合員
龜屋商店
河野出張所
辻本商店
山邑支店
藤田商店
事務所 京城明治町 山邑支店 電話八四九番 振替貯金口座一四四九番

改築の爲め休業中の所漸く完成致候間明日より開業仕候に付何卒不相變御來店御引立の程願上候
明治町二丁目七十六番地
大正軒
軒主 小川白

魚釣具及投網卸小賣
吉備商會
京城永樂町貳丁目 電話三一四番 振替京城四三二八番
鳥捕用カスミ網各種あり御申越次第定價表進呈

塚原卜傳

第百二十六席　悟道軒圓玉口演

天野藤助といふ若侍ヒョイと振返つて見ると小間物屋の四郎吉だから 藤『コレコレ貴樣は小松屋ではないか 熊『ヘエ四郎吉でございます 藤『何が可笑くて笑つて居る 四『何も笑ひはいたしません 藤『笑はない事があるものか、大きな聲でゲラゲラと笑つたではないか 熊『ヘエ實は只今石川樣がお仲間に頭を打たれて後へ引繰返るとお仲間も一緒に蹴つてお額とお額をゴツンと打付けて、アッ痛ッと仰しやつた其の御容子が何ともいへないほど可笑うございましたので思はず聲がゲタゲタと出ましてござゐます 藤『默れ、無禮な奴だ武士の立合ひを見て笑ふ法があるか 熊『眞平御免下さいまし 藤『それは宜いが貴樣劍術を遣つた事があるか何うだ 熊『劍術は飯より大好物でございますが、まだ一遍も竹刀を持つた事はございません、拜見するばかりで……藤『さうか、それならば丁度宜い折だから仲間共と一本立會つて見ろ、拙者が教へて遣る 熊『有難う存じます 藤『さア茲に竹刀がある、面小手もあるから之へ來て道具をつけろ 熊『有難い仕合で、ぢやアどうか一本お立會を願ひます 藤『コレコレ拙者に立合を願ふなどとは生意氣な奴だ、まだ貴樣は素人だ竹刀の持樣も知らん者ではないか、拙者が立會つてござうする、貴樣には仲間が對手をする、コレコレ五助宅内、佐藤喜六、誰でも宜い、手明きの者があつたら之れへ來て四郎吉と一本遣つて見なさい 宅『ヘイ畏まりました』飛出て來た宅内 宅『オイ小松屋、お前劍術は初めてだらう、然う見ねても俺は目録だから大したものだぜ、サア一本教へて遣るから來なさい 四『ヘエ目録といふのは何で 宅『お前目録を知らねエのか、困つたもんだな、目録といふのは劍術の位よ 四『ヘエ目録の上は何といふので 宅『目録の上は切紙よ 四『ヘエ切紙、矢張り鼻をかんだり雪隱で使ふ…… 宅『戲談いつちや不可ねエや、切紙といふのは矢張り劍術の位るだアな 四『ヘエーどうもサツパリ存じませんからどうかお手硬に願ひます 宅『オイオイ四郎吉さん、お前のいふ事は一から十まで間違つて居る、お手硬といふ奴があるものか、お手柔らかにといふんだ 四『私は柔らかいのは嫌ひで、餅でも何んでも硬いのが好ですから 宅『喰物と一緒にして居やアがる、サア來なさい』之れから熊吉支度をして竹刀を執る 宅『サア宜いかい之れが上段之れが中段、正眼の位といふのは之れだ、眼を上に附けて敵の額を睨んで好いかい、ヤッといふ氣合と一緒に打つて來なさい 熊『ヘエ宜しうございますか 宅『不可ないよそんな屁ツピリ腰をして俺が打てるものか、サア充分に身構へをして居るから俺の頭を望んで打込んで來なさい 熊『ヘエ畏まりました』といふ中にピシーリ 宅『ア痛た、、、目から火が出た、オイオイ小松屋亂暴な事をしては不可ねエ、聲を掛けずに打込む奴があるものか聲を掛てから打を入れるものだ 熊『御免なさい、つい馴れないものですから、今度は聲を掛けて打ちます 宅『サア來い』ヤッと聲を掛けて熊吉竹刀を振上げてポカリと打込む、心得たりと七内、ガッキと受けたが熊吉の力だから受け切れない、小手が痺れて竹刀を飛ばし眉間をイヤといふほどポカーリ打たれアッといふと仰向樣に尻餅を突いて了つた、天野藤助之れを見て 藤『四郎吉貴樣劍術を知らないと申したが仲々遣るな 熊『イエ何う仕つりまして一向存じません今日初めて 藤『ウム僞りだらう、仲々其の方の眼の配り只者でない、拙者が一本立合ふから、之れへ出なさい 熊『有難う存じます』と熊吉竹刀を持つて其れへ進んだ。

人參ミルクキャラメル

大田と遊廓

▽風紀上と衛生上より

大田遊廓敷地を春日町料理屋富士屋附近に決定したる事に對して大田市民の内には兎角の評を流布する者もあるやに聞いて居るが敷地の決定を見る迄の經過を略して見ると當局者に於ても慎重の研究を遂げたもので相當の苦心を拂つて居る（大田）

▽事の起りは 前の大田警察署長橋本警視の在任中であつたが大田も逐年人口の增加に伴ひ郡市の體裁が整うて來るに隨ひ現今の料理屋に酌婦を默許するの變則的制度を全廢して是非共大正八年中には遊廓を設置して酌婦全部を一區劃内に收容する必要に迫られたので橋本警視は全州群山木浦其他の遊廓設置地に出張し十分の調査を爲さしめたのであつた然るに全州や群山木浦の遊廓地は何れも市中と距離が餘り遠隔の爲めに嫖客の出入が甚だ少く爲めに遊廓以外の市内に於て賣笑婦の出沒を見るの

▽弊があつて 却て風紀衛生上に害するなど遺憾の點が尠くない事を發見した茲に於て大田に新に遊廓を設置するに就ても市街地より餘り遠距離でない地點を物色する方針を立てたのであるが、さりとて第一風紀第二衛生上に於て缺點のない土地は甚だ尠いもので五箇所かの候補地を

▽比較研究した結果が今の富士屋附近の土地を選定した譯である、この敷地の決定に就ては主として自分の意見を基礎とし道長官の意見に聞き決定したものであつて決定するに就ては相當の理由と自信とを以てしたのである

七月六日九星　舊五月廿八日甲寅

本命四綠　眼成友引　●四綠 掘物土藏の事吉日新事見合北方は吉　暗劍殺▲五黃 氣荒な日爭ひを謹み新事見合の方吉移轉土工は妨なし▲六白 平潮の日なれども新事控目の方吉普請樹木植るは妨なし▲七赤 向ふ事有日新事手控萬事は吉▲八白 調子の狂ふ事有日新事控目一切のせわ事を禁ず▲九紫 大望叶日轉居入學金借名義… ▲一白 … ▲二黑 … ▲三碧 …

演藝案内

壽座 京城壽町 電話五七八　當年浪界の横綱吉田小奈良丸一行　七月四日初日午後六時より　▲三日月次郎吉（東洋軒雷二）▲日露の魁（吉田春風）▲美人の花（吉田春風）▲白狐（京山桃子）▲水府公（廣澤菊州）▲赤垣源藏（吉田小德子）▲利の由來吾妻の義俠（一席）奈良丸　▲御一等七十錢二等五十錢三等卅錢　初日に限り各等半額

有樂館 早川演藝部直營 活動寫眞常設館　◎諷刺喜劇『自動車成金』全五巻 …

大正館 櫻井町 電話八七三　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　七月五日より名畫特別大興行 …

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番　浪界少年の横綱桃中軒 … 七月三日より …

黃金館 電話二六三七 二六六　…

壽館 京城本町 電話一〇五〇　…

寫眞 京城日寫眞製版部

乳の出藥

不思議に効く ちぶさ くすり

乳の出なき爲に止むを得ず牛乳ミルク等で育てゝ居るがこれ程危險な事はない永年苦心の上發見したる乳の藥（乳の母）は … 東京下谷西町二井上… 乳の母發行所

藥草栽培の好季到來

藥用サフラン種球廉價分讓 …

ひぜん水

大阪市西區新町通二丁目 本舗 田知本和三郎製 各藥店に販賣す振替大阪三八八番

▲蚊帳▼

○御安すい時機に仕入ました『かや』が澤山持合せて居りますから安く提供致します 龍山元町 こまや 植西吳服店 電話四二八番

◎ミツワ家庭藥

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の

一、處方を公開し内容を明かにす

如何なる藥品を如何なる分量で調合してあるか分らず、隨て責任を明かにせぬ賣藥は、如何程効能を吹立ても、決して安心して用ひられない、然るにミツワ家庭藥のみは處方を公開し、内容の藥品の名稱と分量を明示し、一々説明書を添へて、其奏効する理由を明瞭に説き、責任を明かにしてあるから安心して用ひられる、現代智識階級の要求に應ずる唯一の治病補助機關である。

二、處方的確にして奏効顯著なり

同一の病に對しても處方は種々あるが、處方が的確でなければ、良効を擧げる理が無い、然るにミツワ家庭藥の處方は、何れも斯道の專門大家に糺して、其の嚴正なる批判を受け、現今學理上にも亦實地上にも是以上の處方は無いと云ふ所まで研究に研究を重ねたものの故、其の効能は顯著偉大で、家庭藥として是程卓効を現はすものは他には無い。

三、性質劇烈ならず中毒作用の危險無し

多くの藥品の中には、性質劇烈のものもあるが、家庭藥に此の如き劇毒の藥を用ふると、輙もすれば過失を生じ、甚だ危險である、又嘔吐耳鳴等中毒的惡作用のある藥品は、如何に効があつても安心して用ひられない、然るにミツワ家庭藥は斯樣な藥品を用ひてないから、斯かる危險も不安も無い。

四、藥品純良にして効力一定なり

名稱の同じ藥品でも、上下の等級があり、隨て其の効力に差異があるが、純良のものは効力が一定不變であることは言ふまでもない、然るにミツワ家庭藥には純良の藥品のみを用ひてあるから、其の効能は常に一定して居て、効かないことは決して無い。

五、製劑正確にして變質の憂なし

如何に純良の藥品を調合しても、其の製劑の方法が正確でなければ、性質の變る處がある、然るにミツワ家庭藥は學識經驗に富める藥學士數名の監督の下に、精確嚴密に製劑するのであるから、無責任なるものとは其の趣を異にし、變質の憂は絶えて無い。

六、容器完全にして風化潮解せず

縱令處方が的確、藥品が純良、製劑が精確であつても、紙包にして置くと、風化潮解して、無効有害になる、然るにミツワ家庭藥は容器に鑑を用ひて、何れも完全にしてあるから其の中の藥劑が空氣と化合したり、濕氣を引いて溶解したりすることが無い。

七、包裝嚴重にして携帶至便なり

ミツワ家庭藥は容器が完全である上に、包裝が嚴重であるから、其の中の藥劑は如何に酷暑の季節に於ても、又熱帶地方に在つても、變敗する憂が無い、それと同時に外出のとき衣嚢や袂に入れ或は旅行のとき鞄の裡に入れて携帶するなどにも至極便利で、破損する虞が無い

八、内用藥は總て錠劑なれば服用容易なり

藥劑には總て用量が定まつてゐて、之を誤ると危險がある、然るにミツワ家庭藥の中内用藥は錠劑にし、服用者の年齢に依り用ふる錠數が定めてあるから、秤る手數も無く、目分量で服むやうな不確實のことも無く、又煎じて服む面倒も無いに服めるので、小兒にも用ひ易く、苦い辛いなどを感ぜず

九、日常起り易き病に對し汎く應用せらる

怪我してから又病に罹つてから、藥劑を求めるのでは到底間に合はず、不慮の禍を招くことがある、斯かる不幸を免れるには、ミツワ家庭藥を平生家庭に必ず備置き、旅行の時にも忘れずに携帶して、早速之を用ふるに限る、ミツワ家庭藥は日常起り易い種々の病に汎く應用されるやう、三十餘種取揃へてあるから、大抵の場合には、之さへあれば間に合ふのである。

十、價格低廉にして永く保存に耐ふ

ミツワ家庭藥は數日乃至數十日分が一罎に入れてあるから、其の一罎の價格は稍高いやうに思はれても、一回分一日分を計算すれば、決して高くない、其の公開してある處方に依つて調劑したなら、恐らく其の定價よりも以上の價にあるであらう、而して一二回用ひ其の殘藥を保存して置けば、永く月日が經ても、性質も効力も變ることが無いから、何時でも用ひられ、畢竟頗る經濟的の藥劑である。

家庭治療法　醫學士小山田□□編　四六版本文二百三十頁　本書は疾病の原因や症状などを平易に説き、家庭にて施し得る療法を丁寧に教へたもので、時節柄にかゝるまでの懇切な相談相手である。定價金五拾錢。但其半額（郵券代用不苦）を添へ申込あれば一冊送呈す。

ミツワ家庭藥の種類と定價（内地以外は別に送料運賃を加ふ）

品名	効能	容量	定價
ミツワ人參錠	神經衰弱・腎臟炎・精力減退等	百錠入 五百錠入	五拾錢 貳圓
ミツワ複方人參錠	動脈硬化・腦溢血・心臟病等	百錠入 五百錠入	七拾錢 參圓
ミツワ健胃錠	胃加答兒・胃酸過多・嘔吐胃痛等	三十錠入 百錠入 三百錠入	拾錢 貳拾錢 五拾錢
ミツワ消化錠	總て消化を促すべき場合に用ふ	三十錠入 百廿錠入 三百錠入	拾錢 五拾錢 壹圓
ミツワ制酸錠	酒の過飲・惡醉・宿醉・惡心・嘔吐	百五十錠入	貳拾錢
ミツワ解毒錠	腸胃を防腐し胃腸病を豫防す	三十錠入 七十錠入	貳拾錢 四拾錢
ミツワ緩下錠	諸病に因る便秘殊に常習便秘症	四十錠入 百廿錠入 三百錠入	拾錢 貳拾錢 五拾錢
ミツワ止瀉錠	急性傳染病以外諸種の下痢	廿五錠入 六十錠入	貳拾錢 四拾錢
ミツワ驅蟲錠	蛔蟲等腸内寄生蟲驅除及豫防	廿五錠入 六十錠入	貳拾錢 四拾錢
ミツワ清涼劑	口中清涼・神身爽快・口中病豫防	紙盒入	拾錢
ミツワ解熱錠	感冒・レウマチス・神經痛等	三十錠入 百錠入 三百錠入	[illegible]
ミツワ祛痰錠	氣管枝炎等呼吸器病一切の祛痰	三十錠入 百錠入	拾五錢 四拾錢
ミツワ鎮咳錠	百日咳・喘息・呼吸器病一切鎮咳	百錠入	壹圓五拾錢
ミツワ鎮靜錠	頭痛・不眠・癲癇等の如き神經病	百錠入	壹圓[illegible]錢
ミツワ婦人湯藥	婦人生殖器病・貧血・所謂血の道	八十袋入	五十錢
ミツワ點眼液	總て眼瞼及眼球の結膜の諸病	點眼器附 壜入	拾五錢
ミツワ鼻病液	鼻加答兒・鼻充血・臭鼻症・衂血等	壜入	參拾錢
ミツワ含嗽錠	咽頭炎及口中一切の病の洗藥	百五十錠入	參拾錢
ミツワ齒痛液	齲齒其他一切の齒痛に用ひらる	壜入	貳拾錢
ミツワ鎮痛液	打撲傷・神經痛・レウマチス等	壜入	四拾錢
ミツワ硼酸錠	眼病・婦人生殖器病の消炎防腐	百五十錠入	貳拾五錢
ミツワ撒布藥	汗疹・多汗症・表皮剝脱皮膚糜爛	紙盒入	拾錢
ミツワ泥膏	火傷・濕疹・毛瘡・擦過傷等	硝子器入	拾錢
ミツワ蟄蟲液	蟻蚊等總て蟲に螫されたる場合	壜入	貳拾錢
ミツワ養毛液	脱毛・雲脂過多を防ぐに用ひらる	壜入	五拾錢
ミツワ花瘡膏	痤瘡・酒渣鼻・毛瘡・白癬・疥癬等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ凍瘡藥	凍瘡・皮膚龜皸・裂・水蟲瘍・水蟲	硝子器入	貳拾錢
ミツワ制痒膏	濕疹・皮膚瘙痒症・火傷・汗疹等	硝子器入	貳拾錢
ミツワ結核錠	結核性の諸症・肋膜炎・腹膜炎	百錠入	貳圓
ミツワ治淋藥	淋毒性尿道炎一般に用ひらる	カプセル五十個入 洗滌器附	壹圓[illegible]
ミツワ淋疾洗滌液	膀胱加答兒・尿道加答兒等	壜入	五拾錢
ミツワ痔坐藥	痔核・痔瘻・肛門裂瘡等痔一切	六個入	四拾錢
ミツワ婦人坐藥	白帶下・子宮内外膜炎・膣炎等	六個入	五拾錢
ミツワ腋臭藥	腋臭・會陰臭・手汗・足汗等	壜入	三拾錢
ミツワ頑癬膏	頑癬殊に陰嚢癬・白癬・濕疹等	硝子器入	貳拾錢

ミツワ石鹸　ミツワ煉歯磨　ミツワ家庭藥　ミツワ人參葡萄酒　ミツワ規那鐵葡萄酒　ミツワドロップス　御園化粧品

發賣元 ◎ 東京市日本橋區橋町四丁目 藥劑、藥品、石鹸、香料品小間物問屋 登錄商號 丸見屋商店 電信略號〇ミヤ─振替口座東京七一〇番 營業部電話浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

汽車

京釜線（南行）（北行）　京義線（北行）（南行）　京仁線（仁川行）（京城行）　京元線（北行）（南行）　湖南線（南行）（北行）　馬山線　… [illegible]

第二版

[illegible]二十四圓五十[illegible]電報來著にて先限二十二圓二十[illegible]錢こ三錢高に寄付七錢上伸し五八錢[illegible]二十九錢三十錢二十七九錢四錢[illegible]三十錢二十九錢八錢七錢八錢七錢[illegible]錢こ定りたるも賣物に三[illegible]錢こ撥ね七八錢を採み詰り[illegible]

仁川米市場

[illegible]千六百五萬五千圓輸入八億三千[illegible]百四十一萬八千圓、總額十七億三千五百四十七萬三千圓に達し輸出入を差引ける[illegible]六十八萬三千圓を增加し其比率[illegible]割六分强に相當し輸入は昨年の四億四千八百四十三萬八千圓に對し[illegible]

△異常の增加を告げたる[illegible]いては輸出が上記の如く[illegible]萬五千圓を減少し僅に六箇月の輸[illegible]年同期に比し輸出六千五百四十四[illegible]

●コール引締

[illegible]

京城日報

露國市場の將來と諸問題(四)

米露貿易の現在及び將來(四)

●露國より米國に輸入さるゝ貨物は殆んど原料品に限られたり一九一〇年に於ける露國の對米輸出總額四百八十四萬弗中四百六十九萬弗即ち全額の約九十七パアセントは原料品に外ならず、就中皮革、羊毛、馬の毛及び其尾毛を以て主たるものとなす、露國統計に由れば一九〇六—一九一〇年間に於る一年平均對米輸出額三百八十二萬弗中二百二十二萬弗は以上の原料品を以て占めたり。次に重要なるは甘草にて米國は實に唯一の輸出市場なりとす一九一〇年に於ては露國の甘草輸出總額二千九百二十四萬封度中米國に仕向けられたるものは二千七百七十三封度に及べりこ以上の外露國よりの輸入品こして注意すべきものは謨謨府、滿俺、亞麻及び大麻なりこす。此等の品目に關する露國の貿易統計は常に米國の夫よりも低し即ち一九〇六—一九一〇年に於る謨謨府の貿易は米國側平均年額六百五十三萬封度なるに反して露國側に於ては四百八十三萬封度なり滿俺鐵に關しても前者三千四十萬封度にして後者は二千四百三十萬封度に過ぎず大麻及び亞麻については此差異殊に著し即ち露國統計に由れば一九〇六—一九一〇年に於る亞麻の對米輸出平均年額は四十八萬千百封度なるに反し之を米國統計に由つて見る時は六百七十八萬六千封度を示せり、之に相當する大麻の貿易額は前者二十四萬千八百封度にして後者は百六十二萬四千五百封度に達せり茲に兩國の統計を綜覽するに戰亂勃發前の十箇年間に於て米國より輸入せらるゝ原料品殊に甘草、皮革、剛毛羊毛、大麻、馬の毛並に尾毛パルプ及び謨謨府の數量は年々著しき增加の勢ひを示せり、米國の統計に由れば亞麻及び亞麻府の增進も亦之に劣らざるものありこ云ふ、開戰後は露國政府の輸出制限によりて米露の貿易も亦必ずしも順調なる能はず然れども此の間に在りても尙米國に於ける露國原料品の需要は尙頗る確實なる進展を示し、此の傾向は殊に毛皮、皮革、就中犢皮、山羊皮、露西亞種子に於て著るし例へば戰前米國は播種用の甜菜種子を獨逸の供給に仰ぎ獨逸は却つて多量の甜菜種子を露國より輸入するの狀態に[illegible]間に直接取引[illegible]之を露國より[illegible]要するに米國は露國の原料品約六七千萬弗を需要する大市場にして米露の間に於て經濟上有無相通ずるの關係あるを否定するが如きは全く根據なき議論なりこ云はざるべからず。

米國の造船界

職工使用の苦心

▲米國の造船業は今や全く白熱的である是は米國が大戰に參加してから尨大なる物資の運輸に對して船腹が著るしく不足して居るので之を補塡すると同時に何事でも世界第一を以て誇り度い米國が戰後の海運業を見越して今の間に多數の船舶を建造し以て世界の海運を支配せんこ欲するの大抱負を持つて居るからである併しながら造船の事たる容易ならぬ技術であつて如何に之が資金を山積しても肝腎の造船職工が無ければ折角の造船計畫も到底實現するとは出來ないので本年の初めに米國內に喧しかつた造船!!造船!!の聲は今や熟練なる造船職工要求の聲こなつた之には政府當局も造船業者も非常に腐心したが其結果勞働者は造船工の動員計畫を立てた此計畫は合衆國公共役務豫備員の登錄を國內全般に實行し現在及び將來に於ける造船職工の需要を約二十五萬こ見做し造船地に於いて必要なる作業上の技術を有し且或る時機に於いて造船工就職の希望を有する者を悉く豫備員たらしめんこするもので之を各州に割充て

◇造船 計畫こ職工問題こは既に之が實行に着手して居る筈である而も尙ほ未解決である現にニューポート、ニュース船渠會社長ファーグソン氏の演說に據れば『普通一人の造船工は二千五百噸(戰時標準)の船舶を建造し得る割であるから緊急造船組合の第一年度分こして豫定せらるゝ三百五十萬噸を建造せんには二十萬人の職工を要すべきであるのに全國の造船職工は之を多く見積りて尙漸く十五萬を出でず』こ從つて各造船會社間の職工の爭奪戰は頗る激烈で極樂大工其の他樵夫迄も雇入れて居るやうな始末である勿論各會社共專心職工養成の方法を講じつゝあるのであるが然れども組立艇の鋲打工でも其養成には約三箇月を要す況んや其他のヨリ以上技術を要するものに於いてをや鋲打こ言へば七千五百噸の組立船一隻に七十萬本の鋲を要するが桑港のユニオン鐵工場で最も熟練した九千六百人の職工を以て一週間に二十五萬乃至三十萬本の記錄を作つたこ言ふことである閑話休題造船工の問題は上述の如く人員の不足のみでは何の役にも立たぬので緊急造船組合は造船職工養成の基礎たる人員の召集に政府の手を借りることゝして之れが訓練には師範學校の組織を應用して國內の最優秀なる

◇工業 敎員をして、既設諸造船所より召集した幹部工手を敎育して、職工養成の方法に熟達せしむることゝした、現にニューポート、ニュース船渠會社では本年一月既に此の師範科を卒業せし者七十五人を有し更に其の後百人を敎育したこ言ふ而して師範科たるには敏活にして理解力に富み人格の善い者等の資格條件を以て選拔するのである斯の如く造船工を得るのに腐心をして居るが更に困難な問題は職工を上手に使用して行く方法である[illegible]中々荒いから下手なことをすれば直にも同盟罷業こ來るこれで造船業者は大打撃なのである米國で開戰以來停業の厄に遭へる會社約卅あるが其損失を見積るこ千二百萬弗を三十日間休業さしたこ略同一であるこ言ふ從つて會社でも其災厄を未然に防ぐ爲め種々な方法を講じて居るのであるが其上職工を精勵恪勤ならしむる點も各主が中々苦心する所である

◇職工 其他の衛生風儀並に居住問題等何れも雇主が細心の注意を以てせねばならぬ所である現にセントルイス市の或る建築工業の鋲打工が造船業の活氣を望むるこ共に紐育に出て或會社に傭はれたが如何せむ工場附近に住居を求むることが出來ず每日遠方から通勤する而して彼の職は體力を要する鋲打であるので八時間の勞働以外通勤時間を要し充分休養することが出來ない爲め終に歸鄉した例もあるこ言ふ要するに米國の造船界は盛んに勃興しつゝあるが米國の造船界には憾うした困難な事情があるが是等の事實は又我國の事業家が研究して置かねばならぬものでは無からうか

朝鮮試驗規則に就て

關屋學務局長談

▲今回總督府訓令第三十四號を以て朝鮮人敎育に從事する內地人敎員の朝鮮語學習奬勵に關する訓令こ同時に同試驗規則發布されたるが之に就き大體の說明を試みんに

▲直接朝鮮人に接觸する內地人官吏及び敎員にして朝鮮語を解せざれば行政に將た敎育に到底徹底せる成績を擧げ難きは實地の經驗者並に識者の夙に認むる所にして內地人一般官吏及び學校敎員の朝鮮語學習奬勵は總督府始政以來の方針たり之を以て內地人にして本府の職員たらむとする者に對しては既に朝鮮語試驗の制あり內地人敎員に對しても極力之が學習を奬勵し從來新任の普通學校內地人敎員に對する講習會等には必ず朝鮮語を須要科目こして加へ又昨年よりは三箇月の長期間に亙り朝鮮語を主こする講習會を開催することゝし本年も目下現に開催中なり又校長會議等の機會を利用して朝鮮語の學力を考查せる道あり何れも相當の好成績を收めつゝあるも尙未だ遺憾の點なきに非ざるに鑑み特に今回之が試驗規則の發布を見るに至れる次第なり

▲規則制定の趣旨は總督の訓令に明かなり該趣旨の徹底を期する手段こして大正九年よりは試驗の成績を以て考科の參考こして試驗に及第せざる者は特殊の例を除く外新に公立普通學校の校長たることを得ず又待遇の上にも制限を加へ試驗及第後こ雖も猶平素の朝鮮語學習成績を考科の一條件中に加ふることゝなるべし

▲試驗は主こして最も朝鮮語を必要こする公普學校の內地人敎員に對し之を行ふものなるが其の他の學校敎員に對しても之が學習を奬勵すべきは勿論希望者は同樣應試することを得べし

▲試驗は每年十二月本府及び道に於て(京畿道は本府に於て)第一次及び第二次試驗を同時に施行する外校長會議、講習會等の機會を利用して臨時に之を施行することあるべし試驗の程度は第一次試驗に在りては受驗者が凡そ每日一時間宛一年間學習して達し得らるべき學力程度を標準こし第二次試驗に在りては生徒の家庭訪問、兩班儒生等この意志疏通其の他普通の講話をなし簡易なる生徒間の對話を聽取し得らるべき學力程度を標準こす右程度に到達するには第一次試驗合格の學力ある者が更に每日一時間宛一年間學習せば能ふべき見込なり

▲試驗規則は大正九年より實施せらるべく即ち受驗者準備の便を圖り此の間約一箇年半の猶豫期間を置きたる次第なり

本紙定價 壹部參錢、壹ヶ月七拾五錢(郵稅共)[illegible]
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

支那時局談

近く任期滿了の有賀博士語る

支那法律顧問法學博士有賀長雄氏は二[illegible]鐵道旅館に休憩午後七時十分發列車にて東上せしが氏は語つて曰く

來る七月三十一日限り任期が滿了するので休暇を得て歸つて來た次第で二箇月許り鹽原温泉で靜養するつもり七月以後矢張繼いて遣るかどうかは不明で現內閣こしては尙引續いて遣らせる考へもあるらしいし又自分も斷然廢して仕舞ふ意思もないが要するに七月三十一日にならないこ實際怎うなるか解り判らない

△議員の選擧 は全く終らぬ今日の處[illegible]昔は人氣が好い樣である夫れは例の安福俱樂部に屬する側の當選が多いからだ孫逸仙の急進派が歸國したのも勢力に定數に滿る丈の票を得國會が成立する見込みが立つたからであるやうに考へらる、自分も最初は支那の憲法其他色々のものを眞面目に調べて居つたが當時林公使は支那に於ける憲法杯今の處六ヶ敷い話だこ言はれたが其後段々時日を經過するに從つて全く憲法を適用される

△國情でない 事が明瞭になつた併し今後眞面目に憲法の必要を認めて適用するこ云ふ事になればナニ一晚の中に造り上て居る

支那に對して眞面目に四角張つて斷定的な話でもする人があつたら夫れは全く實情に通じない人なので實際が萬事怎うなる所か不明であるこ云ふ事が當つて居る議員の決定の規則も一昨年十一月に自分の手で作つたものであるが夫は各政治家なり學者なり役人なり各階級から代表的人物を選擧するのであるが[illegible]各部市から商業家の代表者なるものを出すこ云ふことが實行されず、に至らない

△理想も持つ て居るが例の借款だが今は之が敷設に關して西原氏の運動に依りたる林公使は別に西原氏の運動を擬して何も不眼ゲ間敷事を漏らした事は聞かない現在の支那は所謂群雄割據でゴタゴタして居るが要するに支那は由來千年以來人を以て治めて來た國であるから人さへあれば治まつて行くに極つて居る何樣廣い國であるから人物も居るだらうが少くこも袁世凱以上の人が出れば必ず治まつて行くだらうこ思ふ(門司)

並行線 (二十六)

瀧閑村

朝鮮化學製紙の善後に就ては、大分種々な非難、論議もあつたけれごも、如何に非難しても論議しても事業を開始しなければ、以前の損込は全部缺損に歸さねばならないので、更に四分の一を損込む事になつた。工場事は敷地だけは殘つてゐるから其買收費は無いものゝ、建築費も機械類も、前に比べるこ皆『三割』を騰貴してゐるから、山本社長の是に對する苦心は一通りでは無かつた。

藪島の火事跡は綺麗に片付けられて、白木の香が漂ふやうになつた。快い槌の音が聞かれるやうになつた。打揮ふ手斧の刃が春日に燦めくやうになつた。山本社長は每日來ては工事を督勵してゐる。工事は自分が督勵が出來るが、機械類になるこ、官太郎の歸省した後は高山に相談せずには、機械を左右することが出來なくなつた。機械が會社の原動力であるこ同時に、高山の地位は技師長こして動かし難いものになつた

大抵の日は山本社長こ高山こは朝電車で一所に工事場に行く。

『ごうです、上棟式は四月中に出來ませんか』

『さうですねえ』こ山本は工程を目算して

『出來ますこも、來月機械さへ据付ければ直ぐ事業を始めますよ』

『一日も早く始たいものですね』

『さうこも、併し機械の方は大丈夫でせうね、遲れるこことは無いでせうね』

『それは大丈夫、私が責任を持ちます』

二人の前には希望がある、光明がある。晴れ々しい笑ひが漏れる

こ、山本社長はよく高山を自宅に連れて來て晩飯を食ふので、高山は官太郎に代つて今では家族の一員に近くなつた。

牛耳洞の櫻も蕾がふくらんで、京城も暮るしく春らしくなつた或晩、二人は晚飯の膳に向ひ合つた

『それはさうこ池谷君から近く話がありましたか此頃私の所へは一向ありませんが』こ高山は心配さうに訊く。山本社長は一寸眉を曇らせて、

『いや、私の所へも近來何こも云つて來ない、病氣だこ云つたがごうしたか知ら……』

『病氣だつて輕い神經衰弱だこ云ふから、そんなに永くかゝりはしないだらうこ思ひますが、是は私の推測―寧ろ想像に過ぎんのですがね……』

こ云つて、少し聲を潜めて

『先生、何か內地で事業を始めたのでは無いかこ思ふのです、それで無ければ、此方の事情も知つてゐるし、さう重い病氣こ云ふでも無し、急いで歸らなければならない都合―責任を持つてゐるのに、斯う荏苒してゐるのは變だこ思ふのです。』

山本社長は大きく頷いて

『さう、或はさうかも知らむ、いや私はあの男を少し買冠つてゐたやうだ……』こ云つたが、氣を變へて

『何にしても君がゐてくれりや、事業に差支無いから安心してゐる。』

此話を次の室で靜子は洩れ聞いた。

サッポロビール後援

新築二週年記念(七月五日より)

米國パテタンウザー會社大傑作品 第二十三篇四十六卷十一週間連續

本日より公開

百萬弗の秘密

第一第二篇上場

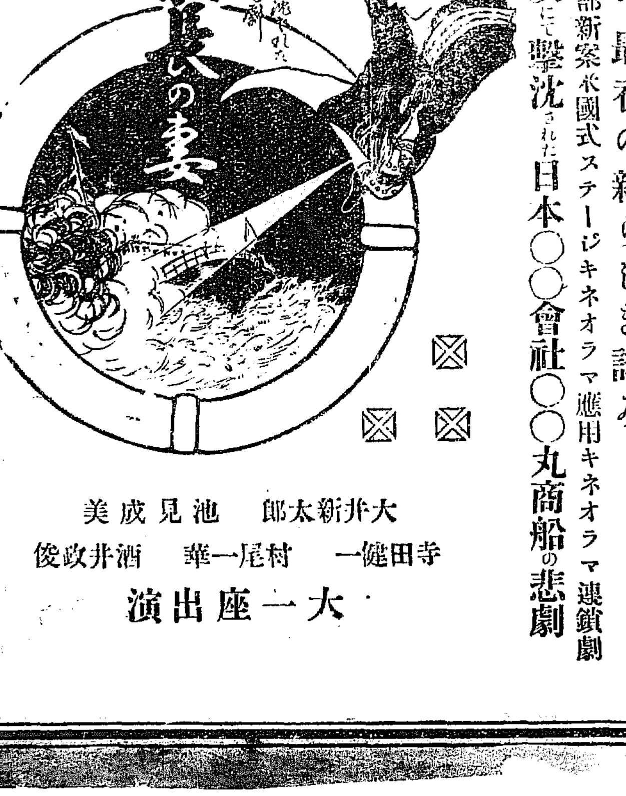
說明 應援天活會社派遣辯士小山清遊氏來る
寶田好洋、政山麗花、古櫻麗葉

他館の絕對に企及し能ざる空前無比の特別興行開始

朝鮮で最初の新らしき試み

天活會社技術部新案米國式ステージキネオラマ應用キネオラマ連鎖劇

英佛海峽にて擊沈された日本○○會社○○丸商船の悲劇



大井新太郎 池見成美
寺田健一 村尾一華 酒井政俊
大一座出演

歐洲戰亂以來敵潜航艇の爲商船の難に遭ふ者不尠昨年[illegible]本最初の武裝船○○會社○○丸も其慘禍に罹れり今回黃金館は其の巨大なる舞臺一面に前記天活會社獨得のキネオラマを應用し電氣仕掛を以て當時の實況を在鮮各位に供ぜん爲特に技術部員十數名を招きたり

觀覽料
△一等 七十錢
△二等 五十錢
△三等 三十錢
軍人、學生 各等半額

黃金館

サッポロビール愛飲家に限り初日より三日間本紙第三面刷込優待券切拔の上御持參の方は

●入場料半減仕候●

西伯利形勢

○チエック軍の活動と

聯合國諸政府援助を與へん

チエック・スラヴアック兵の活動が漸次西伯利の形勢を支配する状態あるに鑑み聯合國諸政府は是に武器彈藥の援助を與へて是を西伯利に於ける聯合軍と爲さんと欲する意嚮あり最も這は未だ聯合國政府間に正式交渉纏りたるに非ざるも若し聯合國にして此手段を執るに決する時は帝國政府も此政策に就きて愼重なる考慮を煩ふるに至る可しと傳へらる(東京特電)

○西伯利内閣顔觸

青白二色の旗を其國旗と改む

今回浦鹽に成立したる西伯利政府内閣の顔觸左の如し

内閣總理兼外務卿デルベル(極東委員會長)内務卿ペトロフ、食糧卿タラソフ、大藏卿トルチフ、軍務卿ラルチン

新政府とトムスク西伯利政府とは同體なる如く、新政府は、青白二色の旗を其國旗と改めたり(浦鹽電報)

○新内閣議長推擧

チエック軍の爲め過激派の勢力浦鹽より掃蕩せられたるを以て同地の市參事會及びダーバー氏一派の反過激派は聯合して西伯利政府を組設し内閣議長にダーバー氏を外務事務長にプテロフ氏を推擧せる旨駐在各國領事に通知し來れり(浦鹽電報)

○露艦武装解除 經過

其筋着電――浦鹽チエック軍司令官は勞兵會に對し同港碇泊の驅逐艦五隻の武装解除を要求せしも勞兵會側之れに服從せず我加藤司令官に其前後策を諮る處ありたるにつき加藤司令官は領事團と協議し次の四艦の武装を解除せり猶殘艦一隻(ベスパヤドヌイ)は目下機械取外し中なりボイキー三百五十噸、グローズヌイ同上、ブラーウイへ同上、ボードルイ同上(東京特電)

○チ軍の進軍開始

チエック軍はハバロフスク、ニコリスク方面の過激派を撃破すべく進軍を開始せり、浦鹽の過激派に屬する物資は全部チエック軍に鹵獲されたり(浦鹽電報)

○黒海艦隊の自棄

對獨條約に反對したる結果

伯林よりの報に依れば黒海艦隊押收に際し同艦隊は公條約に反對し各艦内に於ける激論の後驅逐艦ケルチは弩級艦サムボトナヤ及びロシア號を砲擊し同時に敗集の驅逐艦は陸岸に乘り揚げたり されど弩級艦ウオリヤ及びシ、型驅逐艦數隻は六月十九日セバストポリに歸還し同地にて黒海艦隊の全部は今や獨逸管理の下に在りて戰鬪の爲めに使用せられつゝあり(倫敦電報)

○墺内閣辭職不許

墺太利皇帝カール一世はザイドラー内閣の辭職を聽許せず議會召集を發表せり(維納電報)

○墺軍の損害發表

維納よりの公電は最近攻勢を執れる墺軍の損害を發表し又伊太利總理大臣は右損害を十萬なりと下院に吹聽

○張懷芝

張懷芝氏は軍艦廻安にて一日漢口に着せり(漢口特電)

○救濟事業 調査會總會

救濟事業調査會總會は三日午後一時より内務省會議室に開會各委員出席し水野内相より挨拶ありたり(東京特電)

○米國海運策

矢田紐育總領事報告

高給要求は米國海運業を蹶跌せしむる所以なり 同時にこれにより米國の……が他に得るなり非常船員組合の總裁ジエ……く船舶院總裁ハーレーの如きも飽迄……るところ少く却つて米國の資本が外……政府自ら海運業を營まざることにし始めたるの感あるも之れこそ方……造の海運競爭に備ふべく商船の建……國との競爭に先だち其の損害を償……リヤテが今回遞信本部を華盛頓府……め官僚的見地より此對策に反對し……於ては之れを個人に依頼せしむる……對の確定したるところにあらざる……りに熱心し居りたるも其の後海航……延の建造のみに全力を注ぐに至れ

午後鐵道院に中村總裁を訪問し重要事項を協議したり(東京特電)

事業發展

造林事業

朝鮮貴族團體の造林事業なる貴族團は事業の整理着々進捗し總督府より貸下を得たる山林既に一萬五千町歩に達し主任技師齋藤安太郎氏以下目下之が經營に鋭意從事しつゝあり其の他李完用伯宋秉畯子等貴族の私有山林の經營委託を受けたるもの又一萬五千町歩に上り從來に比し著るしく收益の見るべきものあるに至りし由なるが貴族中には尚之に甘んぜず現在の資金二十萬圓を更に幾倍加して大々的經營の歩を進めんとの意嚮あり貴族連合會の折々話題に上り居れる由なれば遠からず實現さるゝに至るべく本月上旬中尹德榮子邸に開かるべき同團常議員會に於ても或は何等かの發議を見るやも知れず尚同團近の事業としては種苗價格の調節に努め内地人の朝鮮に於ける山林事業經營の委託を勸獎しつゝあるが何れも其成績見るべきものあり今秋頃には清涼里に於いて造林講習會を開催し子弟に對し造林思想を鼓吹する筈なりと

○職工教育 必要

黒澤京管局工場長談

滿鐵京城管理局工場にては現在千八十餘名の職工を使用し居れるが近來戰亂の影響を蒙り各地に工場勃興しつゝあると同時に職工の拂底を來し殆んど各地職工の掠奪戰を極め居る状態に在り近く滿鐵浦三菱製鐵工場平壤小野田セメント會社工場の發展擴大せられたるに及び之がため京城各工場の職工にも動搖を來すこととなり現に京城管理局工場内の二百餘名は滿鐵浦三菱及び平壤小野田會社のために爭奪され今後の處置に窮し居れる有樣なり且つ多數の職工内には内地の好景氣風に唆られ轉業する者も續出し居れば京管局にては目下頻りに之が善後策に就いて熟議を凝し現に從職中の職工の徒弟を收容せしめ一般教育を施す方針をとるに決したるも尚近く具體的成案を得て此等職工の今後の取締に着手す可しと

○鮮内會社 現況

最近に於ける鮮内銀行會社の本店數は二百六十一社其拂込金額五千五百八十萬圓なるが拂込金額最も多きは鮮銀の二千萬圓運輸の二十八社一千〇三十萬圓商業の百〇二六百五十六萬圓普通銀行十三の百二十一萬圓等なりと

○製粉

神戸製粉市場は二月ガ大紛擾を生じ延いて閉鎖の已む無きに至りしが漸く解決最近取引を開始せるが百合印七月限四圓六十五錢八月限四圓七十錢百合竹二回八月限四圓六十錢なり(大阪特電)

○小池中將 動靜

第六師團長小池安之中將は三日正

○殖銀の募株

朝鮮殖産銀行設立に關し内地財界有力者に銀行の内容を説明し更に各種の協調をなすため美濃部鮮銀總裁は三日鈴木度支部長官は四日出發東上したるが八日東京に於て十二日大阪に於て右兩氏出席の上

内地人郡守(二)

(公州) 大塚浩氏

道同忠南公州郡守に任ぜられたる京畿道學務係主任大塚浩氏を其の病床に訪ふ氏曰く『私は滿州から大正四年に京畿道に來たがずつと以前内地に居る頃から總て學務にのみ關つて來たものである

◆今度 の内地人新郡守にも學務主任から五六人任命されて居る由來忠南の公州は兩班儒生の多い所であると云ふから從つて相當頭のある人も多い譯である即ち内地人郡守は最もやり難い處かも知れぬ郡の

◆仕事 として道廳から命ぜられた儘を取り行へば良い譯で今は郡自身に事業能力等の認められたものが無い時だから大して六ヶ敷い事はないかも知れぬけれど朝鮮の地方行政として内地人郡守と云ふものが始めての

◆試み である丈けに自分達は責任の重大なるものを感ずるので……ある道の政治と云ふものは由來朝鮮人に徹底し難い所である

◆表面 判つた樣でも裡面から見れば甚だ徹底して居ないかの感がある即ち鮮人を薫撫し内鮮人の融和を圖り地方行政の發達を念じ樣とすれば何うしても私等自身朝鮮語に

◆精通 しなければならない即ち赴任に臨んで朝鮮語を研究し教化の程度を向上せしめ以て地方行政の主旨を徹底せしめ度いと云ふ事が私の希望であつて自餘は大方の援助に俟つものが多からうと思ふ』

行ふべし又株式募集は東京大阪を初め内地主要地朝鮮内各地一樣に十六日より十八日までに之れをなすべく株數超過の場合は按分募入となす由

○浦京間開通

浦鹽京城間の電信は過日來不通となり居りしが四日正午過ぎより開通せり

○京電値上期

京城電氣會社にては電燈電力料金約一割値上の申請を遞信局に又電車回數券料金一割上げを鐵道局に瓦斯料金の改定を總務總監部に内申中なるが認可あり次第來る八月一日より一齊に實施の豫定なりと

○東拓移民 申込數

東洋拓殖會社にて募集中の朝鮮移民申込數は内地側第一種三百三十四戸第二種九十戸合計四百二十四戸又朝鮮内の申込は百二十一戸合計五百四十五戸にして之れを前年に比し大差なきも内地好景氣の折柄とて成績は良好の方なり

大阪より

◇内外絹織能力 本邦の絹織物工業の能力と米國の能力とを比較するに本邦の職工は一週間約七十七時間操業に從事するに對し米國職工は一週間四十五時間乃至五十時間にして本邦職工の能力五割以上優勢なり特に技術の點に於ても本邦稍優勢なり米國の絹織業は六億の規模を有するも尚本邦品の優良且つ低廉なる絹織の輸入を防止する能はず年々三千萬圓内外の輸入あるを以て一層の改良を加ふれば尚輸出を增進するを得べし又佛國との比較は彼我職工の能力一對二の關係にして佛國の職工は一週間三十時間乃至三十五時間の能力に過ぎず此大懸隔を自覺せる佛國の織物業者は日本の前途に對し警戒の念なきに非ず英國との對照も略佛國との關係に均しきを以て本邦業者にして一層改良に力を注ぎ品質意匠は勿論織方に新機軸を出し歐米の嗜好に副はんか前途は益々有望なるべし近時輸出旺盛を極め市價昂騰の狀に在る縮緬類は佛國縮緬と競爭して後れを取らず特に經緯縮緬の如きは佛國品

に比し十圓高の好勢に在り原料繭の出廻に甘んぜず斯二重羅紗其他の加工方面に發展せんか國利民福の增進蓋し大なるべし

米國債權地位

米國の外國貸出資金總高は最近五十億弗を突破し戰局の延長に伴なひて益々貸出を增加せん勢ひ而して其主なる貸附國は英國の二十五億弗佛國の十五億弗を主として其他の十億弗は露國、伊太利、白耳義、塞耳比亞等なるが英國の特に軍事費を巨額に要するは加奈陀への約一億五千萬弗印度への約一億二千五百萬磅濠洲への約一億餘萬磅以外の各軍事費を仕送りて三殖民地の出兵に供給せる爲めにして合計三億七千五百萬磅=弗換算約十八億……するものなり而して今後戰局益々延引に亘り更に英國が三殖民地より民兵を徴募する時來らば益々軍資を米國に要求すること大なるべく現在の廿五億弗は或は倍額に達せんも測り難く其結果英國は米國に對して大債務者の地位に立ち世界金融市場の中心たる戰前の地位は自然米國に移動する事となりて米英其地位を更ふるは自然の數ならん

○米陸軍豫算通過

對する百二十億弗の軍隊に

米國上院は今回世界空前の單獨豫算として三百萬の軍隊に對する百二十億弗の陸軍豫算を通過し七月一日より實施せり(華盛頓電報)

○米國軍隊派遣説

米國が西伯利救助の爲め物資を輸送し尚軍隊も之と同時に輸送さるべしとの風説あるも右は單に物資護衞の爲めの少數兵員なるべしと(浦鹽電報)

獨外相演説と草經緯

在海牙(和蘭)のタイムス通信員の所報に據れば獨逸帝國議會に於ける外相フオン、キエールマンの第一回演説は主要軍司令部と商議を經たる後起草せられたるものにて是に對しては宰相フオン、ヘルトリング伯が承認を與へたると共に獨逸皇帝も是に承認を與へたるなりと(倫敦電報)

○段氏國本維持四策

段祺瑞氏の國本維持四策なるもの左の如し(上海特電)

一、作戰を繼續し外交に注意する事
二、速かに新國會を召集し財政上の危阴を救濟する事
三、行政上の綱領を企畫する事
四、南北の和議進捗に努力する事

○殖産銀行設立費

朝鮮殖産銀行の設立費用は三萬圓以内と定めあるが株式募集の際に於ける廣告並に諸印刷物其他謄寫費の際とて新聞或は前計額にては不足を生ぜざるやとも云ふ

○京畿繭共同販賣

京畿道管内に於ける春蠶繭共同販賣第三回は二日驪州郡に於て施行されたるが販賣總石數八十六石九斗にして日東社及び猛良順に落札せるが當日に於ける石當價格左の如し

特等百十圓一等九十六圓二等九十三圓三等八十六圓四等七十九圓十錢等外六十一圓八十錢

五日は安城にて施行の筈

○客月木浦港貿易

六月中の木浦貿易額は輸移入十八萬七千八百八十一圓輸移出五十八萬三千三百四十九圓合計七十七萬一千二百三十圓にして之を前月に比すれば輸移入に於て五萬五千百二十一圓を減じたるも輸移出に於て七萬一千一百七十三圓を增加し一月以降累計は輸移入百二十九萬五千七百七十八圓輸移出四百二十八萬七千八百七十九圓合計五百五十八萬三千六百五十七圓に達したり

○府尹郡守會議 日程

京畿道管内府尹郡守及び各財務主任會議は既記の如く來る八日より三日間道廳に於て開催の事と決定せるが其の日程左の如し

▲第一日(八日)訓示、管内狀況報告▲第二日(九日)指示・地税令施行に關する打合▲第三日(十日)地税令實施に關する打合

○宮舘警視發期

道同米國へ出張を命ぜられたる警務總監部保安課長宮舘警視貞一氏は七月中旬京城出發七月末か八月上旬頃橫濱出帆渡米すべしと

○下級海員の不足

朝鮮郵船會社にては内地海運界好況にして下級船員たる水火夫の補充頗る困難に付き今回海運從業の經驗ある支那人二十名を傭入し試驗的に使役する事となりしが大連に於ては既に下級海員に支那人を多數使役しつゝあり成績は良好の方なる由

○船舶職員試驗 遞信局

仁川海事出張所にては來る八月十日船舶職員の試驗を施行すべく試驗種類は甲板部甲種船長機關部機關長以下全部にして志願者は七月末日迄に願書を提出すべしと

人事消息

▲伊藤完弘氏(海事課長) 内地出張の所四日歸任
▲京木又七氏(全南道長官) 四日夜入京天眞樓へ
▲川島秀雄氏(東京數田洋行支配人) 同上
▲大塚日鎮檢事役 同上
▲原鐵三郎氏(新義州朝鮮製紙社長) 四日夜退
▲橫井俊甫氏(第二部長) 同上
▲小杉哲二郎氏(朝鮮無煙炭專務取締) 同上
▲堀池僧作氏(大邱辯護士) 同上

百聞百種

英獨間に俘虜交換問題が惹起して居るが▲各交戰國の俘虜中で一番元氣旺盛なのは獨逸兵で之に反して一番意氣弱して居るのは英國兵だとの評判がある▲之は獨人は半糸粗食に馴れぬのみか時とすると自國の賄より却々上等だと舌鼓を打つのだから徐々肥る許りだ▲處が英軍は世界一の贅澤と來て居るので獨逸の樣な粗食國へ俘虜となると▲第一食事は悉し虐待はせらるゝと來るから健康は著しく衰へる▲從つて英俘虜は骨と皮獨逸俘虜は丸々と肥て居るから何の役にも立つ一寸二の足を踏むものもあるとは御尤も千萬▲米國では四分間人間と云ふのがあつて例の劇場など幕間に飛出しては愛國熱を煽る▲五分と云はず四分と云ふのが米人氣質一分が目付物だと云ふのだらう▲故黒木將軍が紐育へ行つた時地下鐵道の急行に乘換たのを見た米人等は感嘆して▲『實に米國流だ二分間得する』と稱賛した大將チロリと見やつて▲『はゝア、左うかノハ、したが君等は其二分間に何をなさるのぢやナ』で今度は何れも面見合て目をパチクリパチクリ

▲特價金拾圓也▼ 流行 行燈袴
▲送料鮮内十二錢外三十錢
◎純毛にして新流行縞物四種
◎世間ありふれたる内地製品にはあらず
英國製にして「シワノヨラヌ」式 右非常の好評殘部僅少と相成候間至急御注文願上候
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長六〇九番構内十五 振替貯金口座三〇〇番

京日案内
▲申込中後途中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は料に應じ引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず
普通一回前金五拾錢 番外一回前金壹圓(活名一回廿錢)

金融 月賦の方に極秘信用貸 御報知有之迅速取扱候 京城本町五丁目電車終點 大和屋質店
男女事務員數名至急入用 市内要保證人希望者履歷書携帶本人來談 長谷川町六八の四 三好
▲店員並に仲仕數名至急入用 運送業に經驗ある廿歳以下の者 平壤大和町 協同組運送店
◎日鮮人事務員及店員入用 電話六四八番 龍山三角公園地前 金川商會
金融 官吏月掛商人五日掛にて極秘迅速に御融通す 本町四ノ一〇二(電話一九六番) 山田

店員入用 十五歳以上十九歳迄の者 京城南大門通五丁目 齊藤商店 電話二八一〇番
名灸 腦神經衰弱脚氣子宮病肺病心臟胃腸病婦人病 京城黄金町三丁目 郵便所西へ三軒目 電話一〇八七番 大野灸
◎金牌受領盛岡の親玉玄米精米乳下ドクトル都築先生御製玄米乳糸 地方よりの御注文に應ず 北米倉町 東京化學研究所 電一五四七 代理店 京城 玄米精乳舍
店員至急入用 年齡廿歳より三十歳迄 京城旭町三丁目 合名會社京城食糧品市場
北鮮 孟中里間自動車開通 七月一日より汽車發着時間に連絡し定期發着す貸切に應ず 平安自動車運輸合資會社 孟中里營業所
店員入用 年齡廿歳より卅歳迄中學卒業程度希望の方は履歷書携帶本人來談 京城南大門通 中村運送店
恩給年金 は長期低利で特別取扱ふ 但在恩給に對ては此際四分迄 京城日之出町十一 日之出學校裏門前 吉田屋
忠者輸送 寢台車 安價可嘐に取扱致す可く候 永樂町二丁目 電話二六八九 岡本組

いろは金言カード

消化と毒けし
三輪 井上 兩博士御方劑
仁丹
本舖 森下博藥房
い 言ふ人は行ふ人にあらず (西諺)
ろ 論に負けても實に勝て (俚諺)

愈々入る
兎角タイヤに故障多き季節。に然して之が豫防法として執るべき途は唯一つあり……曰く世に定評ある
ダンロップタイヤ
を用ふること

到る處の自轉車店にあり
ダンロップ自動車自轉車タイヤは各自動車店にあり

◎蓄電池界の權威◎
專賣特許第三一三六〇號 第三一三五六號
創業早々注文殺到九月中迄の製品全部特約濟
電氣應用の盛なる現代の如はなく從て總ての事業に向つて革新を見ざるはなし獨り蓄電池界に至りては唯模倣是れ事とし實用に適し社會に益するもの殆んとなきは其幼稚殆んど驚くべし然るに玆に隱れたる電氣界の發明家小西氏が苦辛十年蓄電池の生命にして而かも其骨子たる極版に對して二個の專賣特許權を得たるは斯界に向つて大に誇りとする次第にして耐久力の恒久なる驚嘆に價す今回弊社は該特許權を讓受け全力を傾注して斯界に貢獻せんことを期す
營業品目 鑛山用、漁業用、扇風機、室内電話、輕便發電機、自動車燈、手提燈、呼鈴、電擊器、電燈具、裝飾燈、其他各種
目下集魚燈の製作に忙殺せられ居るに付工場竣成迄暫時他の製作品を中止す
弊社が一度び小西式蓄電池の製造販賣を發表するや從來の蓄電池に對して何れも匙を投げ居る際とて世上の驚嘆一方ならず八方より競爭注文引きも切らざる有樣なるは弊社の最も光榮とする所にして特に集魚燈の如きは其效力の偉大なるにも達せざる爲め長崎の五島を初めとし我邦大漁業地分の一にして而かも經費の低廉なる從來用ひつゝある石油燈の十分の一にもある紀州沿岸一帶山陰道一圓並大分縣一圓は特約を結びの稱ある既に集魚燈の一大會社を設立し又は創立しつゝあり朝鮮の漁業家は一日も閑却すべき問題にあらざるを勸告す
大日本蓄電池株式會社
假事務所 大阪北區曾根崎新地三丁目一七 電話北長一八〇二、北一八〇二 假工場 大阪北區上福島北三丁目 電話土佐堀二八二七番
宇治川水力電氣株式會社技師長にして弊社の取締役たる小林轍氏蓄電池視察として渡米中也弊社の努力は此一事にても知るを得べし(説明書並に專門家の證明書等御望の方は至急申込あれ)
◎漁業家の大福音◎

…戰後之れを阻止するこ困難なる…するも國家全體より見て之れによ…の如くにして初めて米國の進…國上の監督の責を擧げんこの趣旨…實は從來米國の銀行は一般に米國…
…のみならず勞働組合側の主張する…り多く海員を募集し得るの利益は…して他國この競爭に堪へとする…により此決心をなしたるもの、如…
▲戰後米國船舶 市場は…に至るべし今や米國銀行は大勢に…造船に適す又最近の情報に據るに…

◉セミヨノフ軍觀戰記(六)

バイカル湖へ魚釣りに——奈翁に似てゐる總統の母は蒙古人——蒙古の王子四人を教育した——

レニンの命を肯かなかつた

マツエフスカヤ セ軍司令部にて　金谷特派員

◆セミヨノフこ自署——特派員撮影

『われわれの軍は近々痛快な攻勢に轉じるからモ少し滞陣して見物し給へ……』こすゝめられたにも拘らず、廿三日の朝自分はなつかしいマツエフスカヤを後にした『實は哈爾賓まで來て急に戰爭が見たくなつたから來たがまた出直すこゝにする……』こ答るこ『こんごは是非

◇バイカル湖の

魚釣に來給へ…』こ見送られた、(註に曰く——セミヨノフ軍は二日の本紙哈爾賓電報の如く其後滿洲里より三十露里程のアバガイドを占領し、敵をソクトイ方面に追擊し其の後逐次前進しつゝある容になり——)統領は特に滿洲里まで臨時列車を出して與れた、陣中懇意になつた

▽勇士の人々

は驛に數人見送つて與れた、而して統領セミヨノフ大尉も再び温かい右手を差しのべた、別れにのぞんで見た統領の廣い額——それは大奈翁に似たものであるが——こ雄々しき眼光、これが年齒廿九歲の青年こは何うも思はれぬ程の統卒者ぶりである

◇一大尉の身を

わづかにカザック以て部下に少將、大佐中佐を率る三軍を叱咤せんこするのその意氣!!『孤立無援のセミヨノフ軍の力は唯だそれ統領セミヨノフの決心一つに係るのである……』こ、これは親しく幕僚の人々が語るこころである、いつの戰鬪に於ても統領は常に陣頭に立つ、退卻に當つては後衛こ共に引揚げる、此の性格が矢嶋に

▽日本人に惚

れられ廿つ大尉自身も日本人に惚れる所以であらう、統領は六尺豐の巨人である、黃色のカザックの袴に長靴を穿いて銀モールの一等大尉肩章を輝かしつゝあるこころは誠に堂々たる將軍振である、部下の咄を聞けば統領はいつも金錢に淡白で離れにでも

◇摑むで呉れる

ポケツトの金をさうである、而して身を持する頗る謹嚴、如何にも東洋流の快男子である、セミヨノフ大尉の母は實に蒙古人である、故郷は北滿のハイラルから西南方三百露里の豪族の家、幼少の時から十四歲になるまで學校にも行かず蒙古の野に自然を友こして育つた、父がお前は何になるかこ訊くこ言下に

▽『軍人になる』

こ答へたこいふ、其の後十六の年までに獨學で中學卒業の檢定試驗をうけ士官になるべくウラルの南のオレンブルグに行つた此處でカザックの學校に在學したのは三年間であつたこいふ、其後カザックの將校こしてトロイツク、カサーフスク(バイガル湖の南、西貝加爾附近)の砲兵聯隊附こなり

◇蒙古の王子四

人を教育して居たこともあつた、再び三年ばかりして後貝加爾州のネルチンスクのカザックこなり更に浦鹽附近に駐屯中こんごの歐洲大戰が勃發した、當時セミヨノフ大尉は後貝加爾烏蘇里師團附こしてカルニロフ將軍の麾下にカルバート山に戰つた軍中でもセミヨノフ大尉の名は

▽有名な豪勇

こして知られて居つた、後ち鐵道守備こなつて高加索の方面に赴いてゐるこ俄然ロマノフ家は革命の旗に覆へされて了つた、當時大尉は後貝加爾州の代表者こして革命軍のモンゴルブリヤード騎隊編成に努めつつある間露國は再びボルシエウイキの天下こなつた、大尉はカルニロフ將軍この關係からごうしても

◇レニンの命旨

がなかつた、昨年の十二月過激派は滿洲里からダウリヤ、ハイラルに據つてセミヨノフ大尉に武裝の解除を命じた、大尉が部下の廿騎こ共にオルガンナヤを出發して數百の過激派軍を蹴散らしたのは實に此の時であつた……汽車は一時間ばかりで滿洲里に著いた(六月廿三日記)

◇國賓殿下

——御動靜——

コンノート殿下は三日夜京都久原別邸の招待宴に日本服にて臨まれ日本料理に御箸を執られ席上祇園美人の舞踊なご御觀賞ありたり(京都特電)

▽大阪御巡覽

國賓殿下には四日大阪へ成せられ大阪城、砲兵工廠等御覽あり而藤田男爵邸の御招宴に臨ませられ、後京都に御歸還ありたり(大阪電話)

◎男爵の落胤と自稱す

旣報金滿家の息子の如く裝ひ安東縣にて豪遊したる神崎賢太郎は原籍大分縣下毛郡尾紀村神崎官十郎(三十)は南地遊廓にて大盡遊びをなすに郵便貯金帳には卅三錢を預金しゐたるを三千三百圓こ書換て僞造し之れを敵妓あい子に渡し置き殆んご玉川樓を我家の如くになし遂には同人を

◆落籍

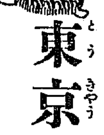
すべく談判を開始する一方陸海亭角屋綠屋三榮樓等に登樓して豪遊をなし尙僞造せる戶籍謄本を示して自分は某男爵の落胤なるが都合により神崎なる醫師の許に養子こして入籍せりなごあらん限りの大法螺を吹て數妓を初め樓主や花房座主等をまるめ込み

◆藝妓

の衣類百數十圓を窃…

東京大相撲

——四日目——



◆油が乘つて來た土俵の內外

東京大相撲四日目なる四日は近頃稀らしき好天氣にて前日來人氣引立ち居れるこゝて開場以來入場者非常に多く正午頃には滿員の盛況を呈したるだけ場內の景氣引立ち殊に當日は鳳會の總見ありて景氣を添へたり當日の主なる勝負及び手捌き並びに五日目の取組は左の如し

勝		負
越ノ嶽		藤ノ谷
生田川		黑潮
一ノ島		千葉ノ花
奥州山		土崎
妙光山		泉潟
千田川		千葉ノ崎
福知山		沖ノ石
石ケ濱		峰ノ越
甲州		大淀
九紋龍		小田ノ山
若葉山		淺ノ山
鶴ノ海		玉ノ川
▲中入後		
小牛田山	出投	眞砂
能代潟	押仆	白岩
伊達錦	下手投	大岬
大戶平	吊出	藤ノ川
大潮	小手投	琴ケ浦
千葉ケ崎	突出	三杉磯
鳳	寄切	錦島
▲本社番外好み		
三杉磯	寄切	藤ノ川
▲本社好み決勝五人拔		
若葉山		

右の內▲眞砂岩に小牛田山は共に新進元氣同志にて綺麗に仕切つて立ち上るや小牛田得意の左差しこなり鋭く寄り立つるを眞砂土俵際に怺へ切返さんこするこころを小牛田出し投げを打てば眞砂の體西溜りへ一文字に飛ぶ▲能代潟に白岩は能代の元氣盛んなれば面白き勝負こなるべく豫想せられしが果して能代の聲に立ち上るや能代右を當て、猛烈に押し進み白が堪ふる所を息もつかせず押し倒してのけ勝は强し▲伊達錦に大岬は立上るや鳥渡突き合ひ伊達右を差して寄らんこするを岬嫌つて振り解かさするを尙も寄り進み岬が土俵際に肩透しを引かんこするこころを大きく打たる下手投げ美事に極まつて伊達の勝▲藤ノ川に大戶平はし藤が又も吊らんこするを吊り返し吊り出して大戶の勝▲大潮に琴ケ浦は兩力士共人氣同志こて聲援旺んにして立ち上るや琴の懷ろに突て入るを潮琴の右上手を引いて休へ琴が右下手より褌を探らんこするを引かせず寄り立つるを土俵を廻つて勢ひ鋭く寄り合ひ隙を見てつて大潮の勝は烈しき相撲▲千葉ケ崎に三杉磯は好取組なり突合き仕切つて立ち上るや千葉より突きかけ三杉が突き返すを押して出で千葉の勝は三杉磯も氣を失なし▲鳳に錦島は左四ツ再三防ぎ錦が更に小手を振つて寄り進むを鳳內掛けに防ぎ錦が更に差手を拔いて再び小手投げを打つて寄るを鳳殘して寄切つて勝にて六時四十分打ち出したり

▼五日目取組

大淀山	眞砂ノ海
若葉山	鶴ノ岩
玉ノ川	小白山
伊達錦	砂岩
能代潟	小牛田山
大ノ山	岩ノ山

相撲雜觀

前日に增した素晴らしい景氣

(琴ケ浦(大潮 (大戶平(藤ノ川 (鳳(三杉磯 (千葉ケ崎 本社番外好み (錦島 大戶平 飛つき五人拔き

四日目はからつこ晴れて場內は蒸し返すやう取組の始まつた午後二時頃には大入滿員の盛況で場內の活氣は前日にも增して素晴らしいものであつた本社好み藤の川に三杉磯は例に依つて人氣を呼び三杉磯の勝は大喝采同く

▽五人拔き

若葉山病後にも拘らず眞砂岩小牛田能代潟鳳石ヶ濱を悉く得意の突出しで離中入後は藤の川に大戶平の取組は大戶藤を吊り出して黃色い聲連中をやんやこ言はせ琴ケ浦に大潮は立上るや大潮後援者の聲援凄じく琴ヶ浦の緒屆筋も又立上つての聲援に割る許りの騷ぎこなり大潮揃ひ投げ見事に極まるや

▽南棧敷に

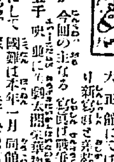
陣取つた大和家の仇助金切聲を振絞つて『藤香さんが此處に附いてまつせ』こ叫んだので大喝采鳴りも止まず此日文の家の久太郎次郎德勇千代次橘屋のおこゑの面々西棧敷で『吉葉山吉葉山』こ騷いだのは聊か五月蠅かつたが異彩を放つたのは御愛嬌だつた今五日は京城興行の

◇千秋樂で

取組は別項の如く好取組であるから四日目にも增して滿員の盛況を呈するだらう

◉柏亭畫伯作品展覽會

渡鮮以來旣に四旬餘其間京龍、仁川、金剛山、水原等風物の描寫に沒頭しつゝありし柏亭畫伯は大小の作品三十餘點に達したるを以て來る六日(同日は午後二時より)七日の兩日長谷川町銀行集會所に於て一般同好者に展覽する由作品には油繪、水彩、素描著彩、新日本畫等



▲太閤榮華物語ご國難

大正館にては五日より新寫眞こ差替ふる筈なるが今回の主なる寫眞は戰爭活劇國難全五千呎映畫にて劇太閤榮華物語全四卷にして國難は本年一月同館に上場して喝采を博したる國の光以上の大物にして太閤榮華物語こ共に今回の呼物たるべしその外の寫眞こしては滑稽活劇チャプリンの道具方等あり今回は特に入場料は普通通りこなるべしこ

▲壽館　日下女流浪花節一行にて開演中なるが同一行のモタレには芸人道あり殊に一齊子と賀代子の三味線八雲琴の合奏は最も聽き物にて好評を博し居れり

▲壽座　浪花節吉田小奈良丸一行にて四日より開演したり

▲浪花館　浪花節桃中軒妙雲一行にて二日より開演したるが毎夜盛な聽衆を集め居れりこいふ

取したるものにて新安南地の古著屋質屋等を調べしに果して新義州方面に多數入質賣卻したるものあるにより早速引證取調べの結果包むに由なく逐一白狀に及びたるが尙ほ餘罪あるべき見込みなるが同人は一年志願兵こして陸軍輜重兵軍曹たる軍籍にある身なりこ尙既報安東銀行預金帳こせしは郵便貯金帳の誤り

◉模範兵自殺

雜囊を紛失した爲めか

平壤步兵第七十七聯隊楚山守備隊步兵二等卒佐藤國太郎(二)は工卒候補者こして平壤聯隊に於て修業すべく去月二十七日二十一名の戰友こ共に楚山出發支那戎克にて鴨綠江を下り二十九日夕龍津鎭江岸に碇泊し晚食の準備中佐藤二等卒は只一人船中に留まり

▲空彈

を裝顚せる步兵銃を咽喉部に擬し物の見事に自殺を遂げたり銃聲に驚きし輸送指揮官以下二十名は早速現場に驅け付け應急手當を施せしも蘇生の見込みなきより三十日午後十時屍體を九龍浦に揚陸し此旨守備隊並に憲兵分隊に急報したれば河內憲兵分隊副官、井上分隊班長等臨檢の上屍體は守備隊に於て同日

▲火葬

に附したり自殺の原因は下航中雜囊を江中に墜落せしめたるを確入こしての大なる恥辱こなし上長官に對し面目なしこて此擧に出でたるもの、如し同人は昨年十二月入隊爾來能く軍規を確守し忠實に軍務を勵み中隊にても模範兵こして上下の信任厚く何れも今回の自殺に對し非常なる同情を寄せ居れりこ(平壤)

◉全國民の覺醒を促さん

◆◆飛行事業の實行方法協議のため◆◆

寺內首相の政治家その他招待

帝國、國民兩飛行協會合同の結果飛行機發明の懸賞飛行家保護飛行思想の普及國際飛行協會加入飛行郵便促進等の事業の爲め五ヶ年に二百萬圓の豫算にて活動を開始する事こなり空中防備の機宜を採るべく全國民の覺醒を促す目的にて八日正午寺內首相は主なる政治家富豪實業家二百四十名を招待し其の實行方法に就き協議すべしこ(東京特電)

◉奉天兵邦人を亂打す

二十九日正午日本商人三五洋行の車輛奉天兵の爲めに徵發されたるより同店員岡島藏は是れを取返さんこして奉天兵二百餘名に亂打され人事不省に陷れり(奉天特電)

多數多衆なれば定めて高評を博する事なるべし

◉德川公令嗣夫人

德川公令嗣夫人政子は侍女三名こ共に大連經由三日夜來奉大和ホテルに一泊四日北京に赴けり(奉天特電)

◉小火

四日午前一時三十分頃京城黃金町二丁目四十番地藥種商李哲熙方より失火常備消防隊出動間もなく消し止む原因は前夜製藥の爲め釜に火を入れたるもの、殘り火なりこ

◉黃金館各等半額

五日より上演の船長の妻に對する割引

黃金館にては五日よりキネオラマ應用の大寫眞船長の妻にて開場の筈なるが同館にては開館二周年記念こして今回の寫眞は特に選拔せるものにしてこの外十一週間連續すべき西萬那の秘密及び落胤怨の活劇を出す由なるが今回の入場料は特に七十錢五十錢三十錢に値下したるもサツポロビールこ協定の結果三日間に限りサツポロビール愛飲家にして本紙刷込みの割引券持參の向きに對しては各等共半額になすべしこいふ

サッポロビール後援

京城 於黃金館

他館の絕對に企て及ばざる大計畫朝鮮に最初の新しき試み『米國式ステージキネオラマ應用』

札幌麥酒優待半額券(自七月五日至七月七日 三日間限り 一枚二人迄)

サッポロビール愛飲家に限り本紙切拔の上御持參の御方は入場料半減可致候

株式會社 大日本麥酒京城出張所

廣告

一、銅鑛　精々高價に買入可申候

一、製錬費　諸物價賃金等騰貴の結果爾今金銀鑛石製錬費を鑛石百貫目に就き金五圓に値上致候間不惡御諒承相願度候

一、鉛鑛　當分の間鉛鑛買入を中止致候

右廣告候也

大正七年七月一日

安東縣沙河鎭

大倉鑛業株式會社 安東製錬所

大戰劇 國難 七千呎

賜天覽 米國ナショナルドラマ會社 昨年十二月十三日伏見宮殿下御覽に於て

一特別大興行一

平和を夢み自由に醉へる米國民が一朝蹶然劍を取て起ち國を擧げて戰局に投じ聯合國を援助するに至れるは一昨年來主戰論者が口を極めて亡國の悲慘を語り迷夢の覺醒に努めたるが爲にして此間幾度か活動寫眞を利用し其主張を宣傳したり『第一戰禍』『然り』『國の光』『然り今回の國難』亦此大目的を以て生れ前者に比すれば更に痛切に更に深刻に防備なき國民の寡るべき慘禍を描出しカイゼルの兇暴を遺憾なく表顯し世に絕對の平和なく絕對の自由なき事を切述し國民の愛國心を鼓舞推奬したる光輝ある大精神を包有し世道人心に貢獻せんこする榮譽ある大寫眞なり

其他　舊劇 太閤榮華物語 全四卷　滑稽 チャプリンの道具方 全貳卷

當五日より　大正館

契約高金五千參拾萬四千五百圓　件數弐拾九萬五千九百五拾六件　諸積立金壹千壹百七拾餘萬圓

徵兵保險株式會社

總裁 男爵 小澤武雄
專務取締役 太田清藏
取締役陸軍少將 伊豆凡夫
顧問 陸軍大將 男爵 鮫島重雄
同 陸軍中將 男爵 西島助義

本社ハ從來鮮滿兩地ヲ四國出張所ノ管區ニ附屬セシメアリシモ爾來被保險者非常ニ多數トナリ茲ニ鮮滿ヲ獨立管區トスル必要ヲ認メ今回京城出張所ヲ新設シ大ニ契約者ノ便宜ヲ謀リ諸事敏速ニ處理可致候

追テ京城龍山兩代理店ハ此際廢シ諸事務ハ京城出張所ニテ取扱可致候

有給社員數名採用(任地鮮滿支那各地) 希望者ハ京城出張所ニ申込マレタシ

東京市京橋區新肴町十九番地 徵兵保險株式會社

朝鮮京城府本町四丁目百二十二番地 京城出張所長 吉岡薰英

滿鮮外交主任 幹事 坂口祐一

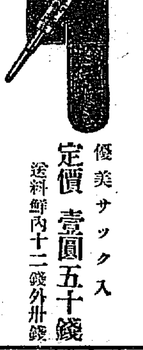
各種鑛物分析依賴に應ず　金銀精製　新發見鑛區買入

京城旭町一丁目七　中村分析所　電話一壹一七番

▼パラチブス=家庭必備=撿溫器

模範的三分計 PINE 撿溫器

優美サック入 定價壹圓五十錢 送料鮮內十二錢外卅錢



農商務省標準器に準じたる特製品 パイン撿溫器

發賣元 京城大平通 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番 振替京城三〇〇

朝鮮總督府中央試驗所發明 各官衙指定品

エーアイ塗料 ルミナ金屬磨販賣

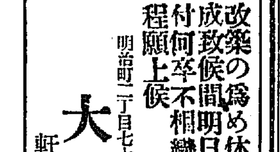
◇エーアイ塗料用途 鐵、木材、金屬、ボイラー、煙突、ペンキ下塗等 トタン、天井、ドアー、窓枠、欄干、棚板、煉瓦石、セメント

◇エーアイ塗料ノ特徵 耐水性强大ニシテ風雨寒暑ニ耐ヘ一耐熱性大ナルヲ以テボイラー煙突ニ塗布スルコトヲ得、一精紫力極メテ强ク決シテ剝落ノ恐ナク一ペンキノ如キ臭氣ナク光澤ナキモ和洋家具ニ塗布シテ美シ一價低廉ナリ一ペンキノ下塗リニ使用セバ極メテ經濟的ナルコト他ニ類ナシ

△ルミナ金屬磨用途 金、銀、銅、ニツケル、眞鍮、其他鐵ヲ除キ一切ノ金屬ヲ磨クニ最モ妙

價格原料高騰セルニモ不拘從來通リノ價格ヲ以テ發賣ス隨テ値上モ無ク在來市場ニ散在セル各種多數ノ品ハ皆缺點アルモ本品ハ朝鮮總督府中央試驗所ニ於テ研究ノ結果發賣セラレタル理想的ノ良品也

朝鮮一手販賣元 京城太平通一丁目(電話七二七・振替京城三二七九番) 石炭商 西崎商會



改築の爲め休業中の所漸く完成致候間明日より開業仕候に付何卒不相變御來店御引立の程願上候

明治町二丁目七十六番地

大正軒　軒主 小川白

廣告

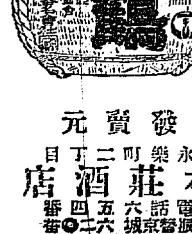
鳳山遊園は山水の眺望こ地の利を得たるが爲め開園式擧行以來日に數千人家族大會當日の如きは優に六萬人を超ゆるの盛況を呈し開業匆々諸事不行屆なるに乘し臨時雇入れたる仲居共不都合にも五錢の茶を二十錢に三十八錢のビールを六十錢に五十錢の辨當を七八十錢に其他不當の代價を申受けたる者有之爲め園主の信用を害ない同時に各位の信用を失し今日に立至り申候處道間今後斷して斯る不都合を再び爲さゞる事を園主に誓ひ茲に再び從前の如く本日より數百の電燈を山上に點し洋食一品十五錢のビヤホールを設け漢江橋の下に遊船及び地引網を備へ付け納涼の便に共し候間倍舊御來遊の程偏に奉希上候

七月三日

鷺梁津(漢江橋畔) 鳳山遊園主 荒井德一

川海鮮魚御料理 望月

優等清酒



發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五四番 振替京城六二〇番

外科 皮膚科 瀬戸醫院

京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話二四九八番 (診察夜九時迄)

醫學士 瀬戸潔

妻の心 二十七

五の七　小林蹴月作　武内桂舟畫

呼鈴の音に驚いて出て來たのはお俊であつた。
『お呼びで御座いますか。』
『うむ、俊か、乃公が呼だんだ。』
『……あの何の御用でお在遊ばします。』
『爺はもう寢て了つた容子か。』
爺とは、抱へ車夫の名である。
『はい爺吉さんで御座いますか。どうせ今晩も旦那様のお歸りはなからうと申して、何處かお夕飯後遊びに出ましたぎりで御座います。』
『なに彼奴は居らん？では仕方がない、宿俥でも關はんから呼んで來て吳れ。』
勿論面當の爲めでもあらうし、一つには這麼不愉快な陰鬱な病人と老母を相手にして、何時まで議論を鬪はして居たところで、際涯がないので久三郎は、再びお芳の許か、若龍の所へでも出掛けて見ようと考へたのである。
『旦那様、それではまあお待ち遊ばして……』と、禮子は、病褥の上から手を差延べて、良人の袂に取縋つた。
『待てと云つたつて、阿母さまが處決せよと被仰るから、僕は處決するんだ。』
『御道理で御座います。貴所のお腹立になるのも御道理で御座いますけれども、云ひ出しては後へ退かぬ阿母さまの御氣質で御座いますから、其處を情願、妾の此の病氣に免じて、明朝まで御猶豫遊ばして下さい。』と、血の涙をはらはら。
『打捨つとくもんです、禮れん。久さんも天下の久さんぢやありませんか。處決すると云つたら、立派に處決なさるでせう。』と、喜久子は喜久子で、益々片意地が募るばかりである。
『まあまあ、阿母さま、妾に任しておいて下すつたら宜いぢやありませんか。病人の妾が是ほどにしてお願ひ致しますんですから……』
『本統にまあまあ呆れて物が云へません。それでは到然お前達夫婦が一致して、老人の妾を踏み潰しにすると云ふもんです。可う御座います。妾には妾で最後の決心がありますから、お前達はお前達で勝手にお爲なさい。妾は隠居所へ歸つて、一寢み爲ねばなりませんからね。』と、喜久子は、散々厭味ひたい事を云ひ盡した揚句、身體も居ても耐まらぬ疲勞を覺ゑたものと見えて、小腰を叩きながら、漸うにして座を立ちかけたが、それでもまだ中途で此の場を引退るのが、殘念で堪らぬと云ふやうな顏付。
『久さん、處決の事は忘れて下すつちや、困りますぜツ。』と、念を突いてから、その瞳を直に禮子の方へ捻ぢ向け
『禮さんも然うですよ。久さんの旦那様にまあ載せられて、一生の後悔を爲ぬやう。呉れ呉れも氣をお付け。』
『……阿母さま、阿母さまのお心持は、能く分つこりますんですから、まあ、今晩の所はお寢みになつて下さい。』
『寢む事は寢みますけれども、町川家の將來の事を考へた日には、寢んだつて眠られたものぢやありや爲ませんよ。』
澁々ながらと云はうか、不精々々と云はうか、喜久子は、こけしくち破面を一杯に膨らした儘で、初めて禮子の病室を出て行く。
『旦那様、本統にお俥をお呼び致しますんで……』と、お俊は、一方に禮子の顏の色を窺ひながら訊ねた。と、禮子は、頭を左右に打掉りながら、お俊の語を遮り
『貴郎、理由の奈何に拘はらず、今晩丈は是非宅で御寢なつて下さいまし。そして、明朝になりましたらば、又何れへなりと、お出掛け遊ばして下さい。差當つてのお願ひは、此の外に御座いませんのですから……』
『好しッ、お前がそれ程に云ふなら、今晩丈は宅に寢ると爲よう。』
『有がたうございます。そのお語をお聞きしましたので、妾も漸う少しは胸が落著ましたやうで……』
眞個一時の形勢では什うなりゆくかと思つた禮子も、良人が外出を見合はすとの一言に依て、多少は安堵の胸を撫で下した。
何處からか、ちりちりんと電話が掛つたらしい。

蟲齒は何うしてなるか

人間の口の中には澤山の黴菌が居ります、而して是等の黴菌は人間が食る食物の澱粉や砂糖を變化して乳酸とする効力があるのですから固より大切なものです▲然るに若し食物をたべる時に其食片が齒の間とか齒の表面の凹んだ處とか又溝や穴に溜ると、黴菌は直に其處へ行つて乳酸を作ります、此の酸が非常に齒には毒であります▲元來齒と云ふものは石のやうに堅いもので出來て居ります、此の石灰質は酸をかけると解けるものですから、前のやうに齒の間に乳酸を作られると、齒は其乳酸の當る部分が次第に溶けてかけます▲此の齒のかけるのが即ち俗に云ふ虫齒でありまして醫者の方では齲齒と申すのです、ですから齲齒になるのを防ぐのには食事後丁寧に楊子で齒を洗ふ事が一番であります

京城の名物（京城南大門通三）カフヱータイガーの洋食とアイスクリーム

日報歌壇

○朝　永登浦　紫牛
しらじらと露流るる漢江の汀に立てば袖しめりけり
朝日影行く帆に水にうつろひて汀涼しき初夏のあけぼの
綠濃き路の小草におく露のこりわけてよしすぎなの露は
○　新蔡　綠雨
夜や旅の空かも波の音近く聞ゐて外海の千鳥啼く
海草の匂ふ濱邊の波静入江の濱は眞晝なりけり
○　龍山　殘鐘
まづ母の露けき臨見しからに告げかねしかもわがかなしみを
○　永登浦　田村春江
父と二人夕べの縁に腰かけてなごか語らず我のさびしき
○　京城　靜雫
をさめ子のわが妹と頼みかひ吾を待ちます母を思へや
故郷の母をし想へば豌豆畑風のしみじみさしぐまれけり
○　京城　南春哉
あしびきの山燒く畑たべだへに夕方まけてほの白みけり

夕まけて風川づらしも下枝なる青葉の搖れを喜びにけり

銃 修繕 玉井銃砲工場 多年經驗と完全設備 龍山元町二 電五三八

□平壤の旅にて　靜軒
日水の夏は恐き程涼しく候、勝景の江山に接しては旅の勞れも打ち忘れ候
四雄齋や夏の江山一眸に
乙密臺にて
野葡萄の花咲く木の間夏の蝶

□京夜吟―其の七―　左衛門
新茶摘ず軒端の雨や梅子落つ　同
黄葉の客むづかしき新茶哉　同
杜氏亦醒むる時ある新茶哉　迦
新茶汲むや心離れ書中の語　同
縁に來る竹の葉風や新茶哉　水
山風の離亭に落つる新茶哉　同
新茶賣ふ燈下に輕き夜風かな　春
眼を遣り窓外や新茶溶くる迄　樹
器の菓子のやゝ減りぬ新茶哉　人
先生を待つ座の硯に新茶哉　瑩貫子

西鮮五句集（第一回）

空迷楼（九點）狂雨、鴎原、鴎四水（六點）文而玉、再生子（五點）南涯（四點）行人（三點）迷二、霞榮、浪山（二點）

四點
あせの馬に今一ときの夕陽　鴎四水
客去つて跡の寂しき暫し蜩うつ　空迷楼
三點
家解く埃の流行く方の夏草刈る　文而玉
夏陰に伸び行く風の聲かな　狂雨
墓地の晝月ひつそり咲きけり　鴎原
伸び上る兒の笑に葵盛られたり　再生子
二點
向日葵の静かなる門に眠る犬　南涯
葵延び々々五月雨晴の明るさ　行人
雜草はめる馬の水の跡や朝　空迷楼
岸に立つ我も蛙の水跡き　文而玉
水車かやすみ居て夕やけぬ　空迷楼
夏の夕涼坑夫ら面洗ひ居る　鴎原
汗に唄ひつゝ入る林かな　鴎四水

新刊紹介（到着順）

▲意外錄（和田垣謙三著）古今東西に於ける有らゆる階級の逸話を主として面白く書きたるものなり滑稽なるもの悲壯なるもの痛快なるもの悲哀なるもの森嚴なるもの悲慘なるもの
▲理想國 プラトーン全譯第二卷 プラトーンの計畫せる理想國は十卷に亘れる外チマイオス、クリチヤスの二卷あり議論の發端は正義の研究に始り理想の政治及び社會を說けるものにして理想國の興味ある問題を說けるものなり〔一圓三十錢東京牛込神樂阪通南北社〕
▲當世書畫人通（小林蹴月著）古書新畫の分界、書畫鑑定難、掘出物、現代畫と市價標準、法律から見た贋物〔一圓八十錢東京有朋堂〕

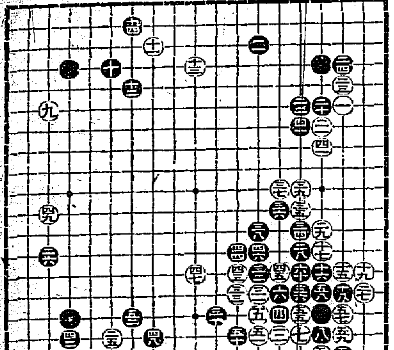
京城本町 千代田號印舖 電話八九七・振替八九七

讀者の領分

▲新演藝（七月號）表紙は田中良三氏の古靴賣、口繪はオフスツト十色刷にて鳥居清忠筆の「淸長花七代目團十郞の曾我」、佐藤三重三筆の「新演藝」等其他三十餘頁〔四十五錢東京京芝公園友文社〕
▲中央文學（七月號）小說公園の小說、論文、短文、散文、長詩、短歌、俳句等あり〔十八錢東京日本橋通四ノ五春陽堂〕
▲婦人新聞（二）半島の俳句界に名高き牛人氏の令妹橋本しづ子女史の京都にて編輯せるものなりとか〔五錢京都下京區不明門通七條南入北社〕
▲後備騎兵に告ぐ 演習點呼に對する許可指令到達せざるときは本籍地市町村長に照會せらるべし
▲一般兵事 質問者に告ぐ、兵事に就き個人に關する質問は時として（軍司令部）又は（龍山二三五）又は往復ハガキ等にて照會せられ差支なし
▲（移住者）▲朝鮮內地間の試驗所可ならず（依頼生）▲鹿兒島縣人の最も多く移住し居る場所を問ふたら何人か答へて吳れた其者に貴職の目的は何職ですか云々とあり生は移住民たるの希望で勿論農目的である
[illegible]

碁戰（三）

（大正七年六月二十三日京城日報主催於圍碁會）
四段 喜多文子
四子 鮎貝房之進



一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九

一代に百萬の富を作る
決して難事に非ず
予が現に實行しつゝある利殖法 何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富强世界本舗取締役　大迫利亮

◆金は誰にも出來る
世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る、一代にして巨萬の富を蓄積すると云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中の秩序がキチンとして居ない時の事であつて、今日のやうに社會の狀態が萬事組織立つて仕舞つては無一文から俄かに金持となるやうな事は到底出來得るものではない、况んや一代にして一百萬圓の富が得られると云ふやうな事は全く空想である、空理空論であると一笑に附する人が多いであらう、併し、金は作らうと思へば必ず出來るのである、一代に一百萬圓の富を得ることも決して難事でない、疑ふ人は來つて先づ予が如何なる利殖法を實行しつゝあるかを調べて貰ひたい。

◆成功致富の實例多し
一昨年十月農商務省の調査報告したる五十萬圓以上の全國資産家表を見ると、現在我が帝國に於ける五十萬圓以上の資産家は合計二千二百十一人であつて之を前回の調査即ち明治四十四年七月の調査に比較すると、其の數に於て實に一千百七十六人を增して居る、ツマリ此の五年間に於いて五十萬圓以上の資産が一千百餘人增加したのである、而して此の事實は取りも直さず、社會の秩序が整然とした現代であつても、尚且つ金は出來ると云ふことを證明して居るのである。

◆金の出來ぬ理由なし
然るに金が出來ないと云ふのはツマリ心が足りないのである、信念が無いのである、予は此の點に關して多年苦心の結果、先づ富を作らんと欲するもの、第一條件が利殖の觀念を鞏固にするに在ることを深く感じ、日夜專念、約十年の永きに亘りて利殖法の研究に努力し、自ら又、自己發案の利殖法を實行して、約二十萬の富を作り又更に之を自己關係の會社商店に應用して悉く良好なる成績を擧げ、以つて今日に及んで居る事は天下周知の事實である。

◆天下の富豪金利を恐る
三井、三菱、住友の如き大富豪であつても茲に假りに僅かに一萬圓の借金があつて其の借金に年二割の利子が積つて行つたと假定すると其の借金は五十一年目には優く勿れ、實に一億一千萬圓の巨額に上つて三井、三菱の富を以てしても尚且つ破産の運命に陷らねばならぬのである、故に之れを反對に見て茲に一萬圓の財産を有する人が其の金を約二割に廻したとすると、其の人は五十一年の後には三井岩崎家を凌駕して一億一千萬圓の大資本家となる事が出來るのである、併し今現に無資産の人には此の論法では通用しない、即ち茲に先づ資金百圓の利殖法を講じて更に然る後に其資金の百圓を作る方法を講じ無一文の裸一貫から巨萬の富を作り出す實行方法を述べる事としよう。

◆百圓の資本で百萬圓
茲に一百圓の資金を持て居る人があつて其人が其の一百圓を年二割の金利に廻したと假定すると一百圓の元金は五十一年目には元利合計金一百十萬圓となるのである、又一百圓の元金を年三割に廻せば廿六年目に一百廿六萬圓となり年四割に廻せば廿八年目には一百廿三萬圓年五割に廻せば廿三年目に一百十二萬圓となるのであるから、若しも百圓の金を以上の金利に廻すことが不可能でないとすると一百圓の資金を有して居る人は誰しも一代に一百萬圓の資産家たり得ると云ふ事になる、問題は果して二割三割と云ふ金利に其金を廻し得るか、否かにあるが、予は必らず以上の金利に廻し得るものと信じ、且つ之れを實行しつゝある一人であるから之れから順次、自己の實驗に基く利殖法の根本觀念を說く事としよう。

◆一日五厘儲ければ宜し
[illegible]

◆法しても十行に非ず
[illegible]

◆百圓の元金を得る法
[illegible]

◆今直ちに決心せよ
[illegible]

◆本社の確實なる事
本社は資本金二十萬圓の株式會社であるが、[illegible]

◆會員には永久指導
單に講義錄によつて懇切に金錢利殖の秘訣を公開する許りでなく一たび本會へ入會した人は社友として、永久に本會との關係を持續し會員各自に對して一々實際問題に對する解決を與ふると共に會員各自が成功致富の目的を達する迄は永久に指導の任に當つて居るので今日迄社友たる會員から來て居る處の多數の禮狀は自分が國家社會の一員として何よりも愉快に感じて居る處である。

◆貧乏人續々奮起す
然るに、世の多くの人が、一代に富を作るの氣みなし、と悲觀なして遂に自暴自棄に陷るが如きは誠に歎ずべき次第である、予は多年此の利殖法を研究し、且つ實行し來つたのであるか、之を公にする を欲せず、唯、親戚、知己の間のみ說きたるには失意の境遇に陷りて助力を乞ふものに說き來つたのに過ぎない、併し、予の此の利殖法に勇氣を得て俄かに發奮努力するに至つた人も尠くなく、昨日、失望に泣きたる青年も今日は光明あり希望に滿たされたる生活に蘇生するやうな實例も尠くなかつたので、茲に予が年來苦心せる利殖法を公開するに至つた次第である。

◆貯蓄投資講義錄の發行
今や、我が帝國は歐洲戰後の各列强と互して、如何なる政策を樹立し、其の國是を如何にす可きかに就て、最も慎重に考へればならぬ時機に到達して來た、併して其の國是と稱し立國策と云ふ點に歸著すると思ふ予は茲に深く決する所あり今回本社內に「貯蓄投資研究會」なるものを設け「貯蓄投資講義錄」を發行し、人々をして貯蓄の實行をなさしむるのみならず、更に其の貯蓄したる資金を最も確實に、有利に運用利殖して先づ人々をして一萬圓なり二萬圓なりの基礎的財産を作らしめ、更に進んでは一百萬圓の富を成さしめんと努力する次第である。

◆空論に非ず實際的
既に金をためさせて、そして其れを殖やさしめる爲めの講義錄であるが故に、勿論、空想めいた言葉は一字もない、講義錄を讀めば、其の職業の傍らで直ちに實行が出來るやうになつて居る、貯金のないものが之れを讀めば直ちに貯金が出來る、今迄銀行や郵便局に安い利息で預金をして居た人は直ちに其の利殖法を覺ねて二割乃至五割と云ふが如き驚き利廻に利殖することが出來るやうになり、そして完全に確實に成功することが出來る、恰も盲目を手引するやうに一々懇切に指導してあるのが本講義錄の特色である。

[illegible]

外科 皮膚科 內科 花柳病 小兒科 入院隨意 診察夜九時迄 島崎病院 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一 京城旭町一丁目 本町通り左に入る 電話二七三六番

銘仙ゆかた地

新荷着 輕くって涼しいその着心地を味ひ給へ
□白地、及び薄色地で、かすり、縞、格子類 一反 金拾圓より金十二三圓迄 ●資料 鮮內十二錢 鮮外三十錢
□地方よりの御注文は男女年齢柄向きの御嗜好等御申越し下され候はば必ず適當の柄相選み代金引替を以て御送り可申候
京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

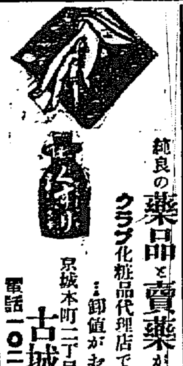
醇良無双 清酒
衛生無害品質無双

發賣元 京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一七一一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

定價 內用
△七日分、金五十錢 △十四日分、金壹圓 △三十日分、金貳圓
△四十七日分、金參圓 △八十五日分、金五圓 △百八十五日分、金拾圓
滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス

陸軍御用 元祖

人蔘エキス
朝鮮高麗人蔘（白蔘 尾蔘）直取引貿易商 京城本町一丁目 津村兄弟商會本店 電話一四八〇番・振替京城三五一番・取引百三十銀行
人蔘エキス本舖 津村兄弟商會支店 京城本町一丁目 電話一八七〇番
朝鮮釜山大倉町 電話三九四番 津村兄弟商會釜山支店 大邱支店
京城本町二丁目 山岸天佑堂 京城本町四丁目 木村藥舖 北島藥舖 其他朝鮮全道四百十ケ所
大特約店 日本各府縣、樺太、北海道、臺灣、支那、滿洲、三百廿ケ所に特約販賣致させ居候間御用命願上候萬一品切の節は本店に御注文被下候はゞ直ちに送達申上候
品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス


純良の藥品と賣藥が揃つて居ます
クラブ化粧品代理店ですから
：御値がお安いです
京城本町二丁目角 古城賛化堂 電話一〇二番 振替七三七番

資本金 壹百萬圓
諸積立金 參十一萬五百圓
株式會社 朝鮮商業銀行
京城南大門通一丁目 電話五五八・五六八・一六一三 振替京城一六三四番
銀行長 趙鎭泰
支配人 豊田明敬
一般銀行業 倉庫業
南大門支店 電話一六〇六番 振替 一四〇八・一二〇三番
本町支店 電話一七五二・五四六番 振替
仁川支店
平澤支店 群山支店 東大門出張所

うなぎ 本年も不相變御用命被下度候 陸軍御用達 龍山元町四丁目川岸 川魚問屋 鰻 宇田商店 電話一一五番

最新刊
書名 著者名 定價
新日本見物 別所梅之助 六〇
化學的實驗法詳解 … 一二五〇
家庭園藝十二ヶ月
朝顏栽培秘訣
[illegible]

京城本町 大阪屋號 電話六四〇・二〇八番 振替京城二五七二番

王室 御用 模範 牛乳 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話二五番
ニッソ 石鹸洗粉 太正塚肥 主製

りん病ばい毒 にせドラッグあり御注意 奸商なり
京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 本部
花柳病藥 大阪ドラッグ商會
京城黃金町 同 支店

京城龍山等各地に偽物有御注意

日本郵船（仁川）出帆
◎大連、天津行
樺太丸 七月十九日
三河丸 七月 九日 正午出
高砂丸
仁川海岸町一丁目（電話十番）堀同漕部

阿波共同汽船（仁川出帆）
大連直行（關東都督府命令船）
共同丸 七月六日 七月七日 前出港 後入港
朝鮮鐵道主要驛にて阿波共同汽船株式會社各代理店及び仁川代理店
仁川代理店 本町四丁目（電話一七五番）
元山代理店
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
◎釜山麗水線 統營丸 毎日 釜山發 麗水發
◎木浦群山線
◎雄基行 雄基丸
◎元山雄基線 京畿丸 鏡城丸
◎大阪行 越後丸 七月 五日 元山發
◎金剛山巡航
◎清津仁川航路
[illegible]
本社 京城南大門通 電話二一三九・五二番

尼崎汽船（仁川）出帆
大阪直行 第一大勢丸 下關 神戸 大阪 毎月 日後四時出帆
仁川海岸通一丁目（電話五九番）高杉回漕部

御注意 歐洲行 北米行 南米行 濠洲行 南洋行
大阪商船株式會社 [illegible]

大阪商船（汽船）出帆
神戸、大阪行
友康丸 七月廿二日 後五時出
清津行（元山出帆）
平安丸 七月十三日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
宮島丸 七月七日 後九時出
上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 七月十二日 前六時出
基隆丸 七月廿四日 後四時出

釜山出帆廣告
汽船 ◎元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸 七月五日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行
第二琴平丸 七月十五日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行
天昌丸 七月四日午後十一時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部